

令和 6 年度 「農業遺産認定による効果検証分析」 分析レポート

2025年 3 月 統計データ分析支援チーム

目次

1. 分析の趣旨・目的
2. 使用するデータと分析の方法
3. 分析結果の概要
4. 分析結果詳細
 - (1) 農業遺産認定地域の分布
 - (2) クラスタ分析による類型化
 - (3) 効果検証結果①経済(農林業)効果
 - (4) 効果検証結果②経済(観光)効果
 - (5) 効果検証結果③農業遺産（地域）の認知度・評価の変化

1.分析の趣旨・目的

世界農業遺産及び日本農業遺産（以下「農業遺産」）は、社会や環境に適応しながら何世代にもわたり継承されてきた独自性のある伝統的な農林水産業と、それに密接に関わって育まれた文化、ランドスケープ(景観)及びシースケープ(海観)、農業生物多様性などが相互に関連して一体となった、重要な伝統的農林水産業を営む地域（農林水産業システム）を認定する制度である。

農業遺産の認定地域を将来にわたって保全していくためには、様々な形で地域を支援する者（関係人口）が増加していくことが必要であるが、現時点では農業遺産自体の認知度がまだ十分に高いとはいえない状況である。これを改善していくためには、農業遺産認定の効果について具体的なデータを用いてわかりやすく発信し、効果的なP Rを実施する必要がある。

本分析では、農業遺産認定の効果を経済的な効果及び農業遺産（地域）の認知度・評価の変化の面で明らかにし、今後の農業遺産に関する認知度向上に向けた取組の更なる検討を行うための基礎資料とすることを目的とする。

2.使用するデータと分析の方法

□使用するデータ

- ・農林業センサス 2010年、2015年、2020年
- ・市町村別農業産出額（推計）2014～2022年
- ・経済センサス 2012年、2016年、2021年
- ・観光入込客数 2013～2020年
- ・国勢調査就業状態等基本集計(就業人口) 2010年、2015年、2020年
- ・住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数調査(人口・世帯数) 2010～2023年
- ・農泊宿泊者数・宿泊施設数 2014～2022年（農村振興局提供）
- ・X(旧Twitter)投稿抽出データ 2015年～2017年

□分析の方法

- ・クロス集計
- ・クラスター分析
- ・傾向スコアマッチング
- ・差の差の検定
- ・テキスト分析(共起※・頻出単語、ワードクラウド、トピック分析)

※共起とは任意の文書や文において、ある文字列とある文字列が同時に出現すること。

3.分析結果の概要（1 / 4）

✓ クラスター分析による類型化

＜分析概要＞

農業遺産の認定地域には多種多様な市町村が含まれるため、単にそれらの市町村全体に対して分析を行うよりは、可能な限り市町村ごとの特徴や傾向を踏まえて分析を行う方がよりの確に認定の効果を捉えることができると考えられる。そのため、まずは分析対象のグループ分けをするのに用いられる「クラスター分析」により、認定地域の市町村に共通の特徴を抽出し、類型化を行った。

＜結果概要＞

類型化の結果は以下のとおりであり、農業遺産地域の市町村の全体像をより分かりやすくとらえることが可能になった。

*類型化の結果

- ① クラスターID0: 田畑を中心とした水田作を営む農業経営体が多い地域
- ② クラスターID1: 農林業経営体数・人口が多く、販売金額が高い地域
- ③ クラスターID2: 農林業経営体数・人口が少なく、販売金額が低い地域
- ④ クラスターID3: 果樹を営む農業経営体が多く、かつ販売金額が高く、農業生産関連事業売上がある経営体が多い地域

3.分析結果の概要（2 / 4）

✓効果検証結果①経済(農林業)効果

＜分析概要＞

認定前後の農林業に関する経済的な効果を確認するため、認定地域及び非認定地域の市町村について、経済的な各指標に係る認定前後での伸び率の差を認定期間別・クラスター別で比較した。

比較に当たっては、認定されたこと以外の諸条件の違いによるバイアスを可能な限り取り除くため、傾向スコアマッチング及び差の差の検定を実施した。

＜結果概要＞

まず、認定地域全体について分析を行ったところ、

- ・ 農林業センサスにおける指標（「販売金額」、「販売金額平均」、「農業生産関連事業売上のある経営体数」など）
- ・ 農業産出額における指標（「市町村別農業産出額（推計）」、「市町村別農業産出額（推計）（耕種）」）
- ・ 人口・世帯数に関する指標（「世帯数」）
- ・ 経済センサスにおける指標（「製造品出荷額等」、「租付加価値」、「（宿泊飲食サービス業に係る）売上金額」、「（宿泊飲食サービス業に係る）付加価値額」など）

について、非認定地域より認定地域の方が(統計的に有意な差はなかったものの)高い伸び率であることを確認できた。

また、農業産出額について、スライドP5で分類したクラスター別に分析したところ、「市町村別農業産出額（推計）」では①及び④の地域、「市町村別農業産出額（推計）（耕種）」では①、②及び④の地域において、認定地域の方が高い伸び率であることを確認することができ、かつその一部はその差が統計的に有意であった。

3.分析結果の概要（3 / 4）

✓効果検証結果②経済(観光)効果

＜分析概要＞

農業遺産の認定地域について、観光客入込客数及び農泊宿泊者数という観点から地域のパターン分けを行うとともに、認定地域と非認定地域の市町村について、観光に関する各指標に係る認定前後での伸び率の差を比較した。

＜結果概要＞

パターン分けの結果は以下のとおりであり、農業遺産地域の市町村の全体像をより分かりやすくとらえることが可能になった。

*パターン分けの結果

- ①観光客・農泊宿泊者がともに多い地域
- ②観光客は多いが農泊宿泊者は少ない地域
- ③農泊宿泊者は多いが観光客は少ない地域
- ④観光客・農泊宿泊者ともに少ない地域に類型化

また、観光に関する各指標のうち「観光入込客数」、「農泊宿泊者数・施設数」については、認定地域の方が非認定地域より伸び率が高いことを確認し、かつ「農泊宿泊者数・施設数」については統計的に有意な差を確認することができた。

3.分析結果の概要（4 / 4）

■ 効果検証結果③農業遺産（地域）の認知度・評価の変化

＜分析概要＞

農業遺産の認定地域に係る認知度・評価の変化を確認するため、農業遺産に関するキーワードを選定し、SNSにおける投稿件数やその内容(話題)の変化、共起単語の変化等を分析した。

なお、分析対象のキーワードについては、政策部局である農村振興局側との協議の結果、「落ち葉堆肥」、「甲州AND（ぶどうOR果樹）」の2種類を選定した。

＜結果概要＞

「落ち葉堆肥」、「甲州&(ぶどうOR果樹)」ともに、認定の前後で**各単語が含まれる投稿が増えるとともに、関連するキーワードを含む投稿も増えていた。**

また、認定の直前と認定後で、**認定地域についての報道その他当該地域の話題に関する投稿が増え、農業遺産の認定に伴いその地域の認知度が上がっている可能性を確認することができた。**

さらに、「甲州&(ぶどうOR果樹)」については、認定後に観光地としての認知度だけでなく、**その地域における農業の取り組みやぶどうの苗木・品種の品質の高さ、「ぶどう」を素材とした多種・多品目の特産品について、認知度が上がっている事を確認することができた。**

4.分析結果詳細

✓ 3の概要で記載した各分析の詳細な結果（下記（１）～（５））については、次ページ以降のとおりである。

（１）農業遺産認定地域の分布（10ページ～11ページ）

（２）クラスター分析による類型化（12ページ～24ページ）

（３）効果検証結果①経済(農林業)効果（25ページ～35ページ）

（４）効果検証結果②経済(観光)効果（36ページ～49ページ）

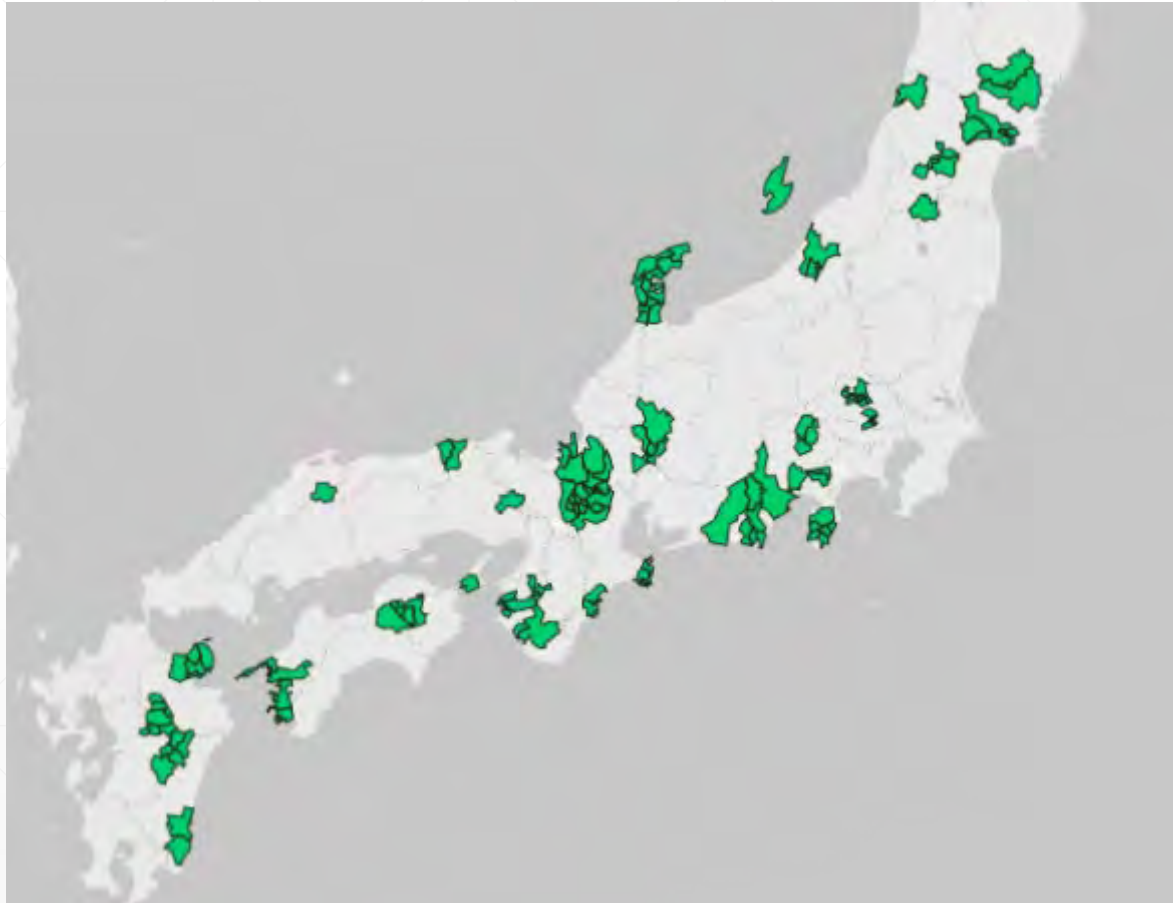
（５）効果検証結果③農業遺産（地域）の認知度・評価の変化（50ページ～70ページ）

(1) 農業遺産認定地域の分布

認定地域が日本国内でどのように分布しているかを把握するため、地図上での可視化を行う。

農業遺産認定地域の分布

2011年～2023年までの間に認定を受けた地域数（※）は、東北から九州にかけての全32地域、
131市町村 ※ 世界・日本農業遺産の合計。



(2) クラスター分析による類型化

認定地域についてクラスター分析による類型化を実施し、分類したクラスター別に特徴を把握する。

クラスター分析による類型化

農業遺産の認定地域には多種多様な市町村が含まれるため、単にそれらの市町村全体に対して分析を行うよりは、可能な限り市町村ごとの特徴や傾向を踏まえて分析を行う方がよりの確に認定の効果を捉えることができると考えられる。そのため、まずは分析対象のグループ分けをするのに用いられる「クラスター分析」により、認定地域の市町村に共通の特徴を抽出し、類型化を行った。

【補足】クラスター分析に関する説明

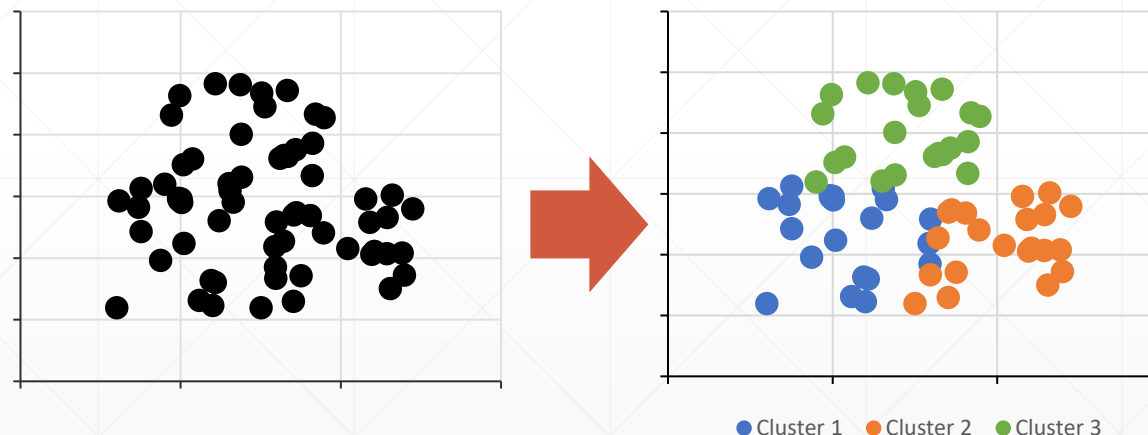
- 【クラスター分析とは】

クラスター分析の「クラスター」とは、英語で、「集団」、「群れ」を表す言葉であり、クラスター分析とは、データの集まりから、互いに似た性質を持つデータを集め、それらをまとめてクラスターとして識別する、グループ分けのための分析方法である。

クラスター分析では、サンプル同士の「似ていること（類似度）」の基準、または逆に「似ていないこと（非類似度）」の基準により、クラスタリングを行う。クラスタリングの方法には、1つずつ類似度の高いサンプルを階層的にクラスタリングしていく階層的クラスタリング法と、はじめからいくつかの中心点を決め、その中心点に近い（非類似度が小さい）サンプルを一括してクラスタリングしていく非階層的クラスタリング法がある。

- 今回は、非階層的クラスタリング法の中でも最も一般的な「k-means法」を使用した。

k-means法とは、あらかじめ、いくつのクラスターに分けるかを決めた上で、そのクラスター数にサンプルを大まかに分類した後、各サンプルとクラスターの重心の距離が最も近いクラスターに再度割り当てを行っていく方法である。



- 【クラスター分析の目的】

クラスター分析は特に民間企業におけるマーケティングに活用されており、多様な市場や顧客を類似性の高いグループごとに分割し、当該グループの特徴に合わせた商品の製造・販売や広告キャンペーンを実施することで、効率的かつ効果的な事業展開につなげている。

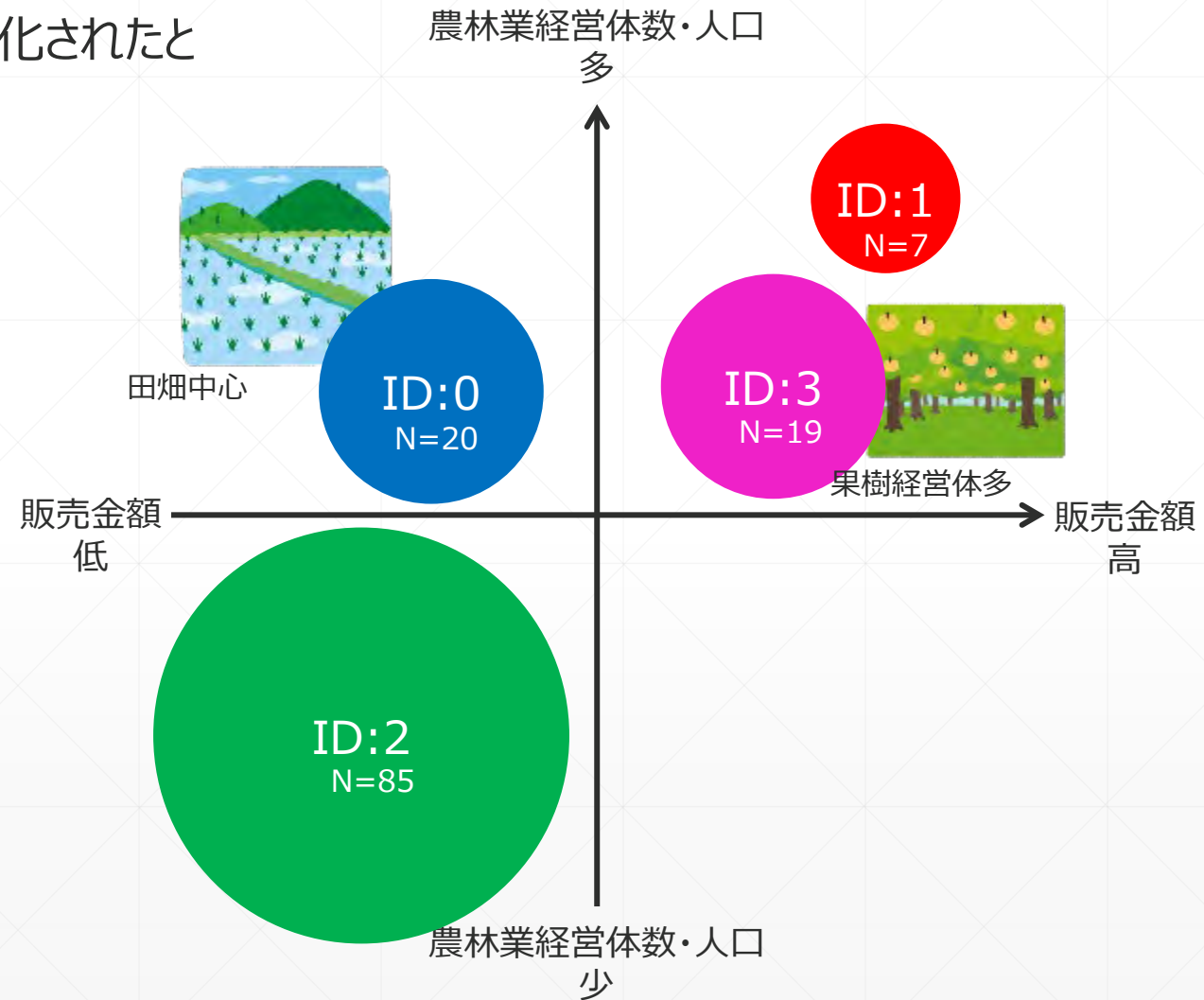
クラスター分析の方法

- 手法：K-means法
- クラスター数：4
- 対象：世界農業遺産・日本農業遺産に認定されている131の市町村
- 変数：
2010年における各市区町村の以下の数値
 - 農業経営体数, 林業経営体数, 農林業経営体数
 - 販売金額がある経営体数, 販売金額, 販売金額(平均)
 - 農業生産売上がある経営体数, 農業生産関連経営体数
(農産物の加工, 観光農園, 貸農園・体験農園など, 農家民宿, 農家レストラン, 海外への輸出)
 - 経営している田, 借りている田, 経営している畑, 借りている畑, 経営している樹園地, 借りている樹園地
 - 販売金額一位の経営体数
(水田作, 畑作, 露地, 施設, 果樹, 花き花木, 酪農, 肉用牛, 養豚, 養鶏)
 - 農業遺産の種類
 - 就業人口, 人口, 世帯数

クラスター分析結果概要

クラスター分析の結果、以下の4つのクラスターに類型化されたと考えられる。

- ID:0 自ら経営し、又は借りている田畑の面積が大きく、水田作の農業経営体が多い市区町村のクラスター
- ID:1 農林業経営体数や人口・就業人口・世帯数がともに多く、全体的な販売金額も高い市区町村のクラスター
- ID:2 農林業経営体数や人口・就業人口・世帯数がともに少なく、全体的な販売金額も低い市区町村のクラスター
- ID:3 自ら経営し、又は借りている樹園地の面積が大きく、果樹の農業経営体数が多い上に、全体の販売金額や平均販売金額が高く、農業生産関連事業売上有る経営体数も多い市区町村のクラスター



クラスター別の分布

クラスター別の分布は下図のとおり。

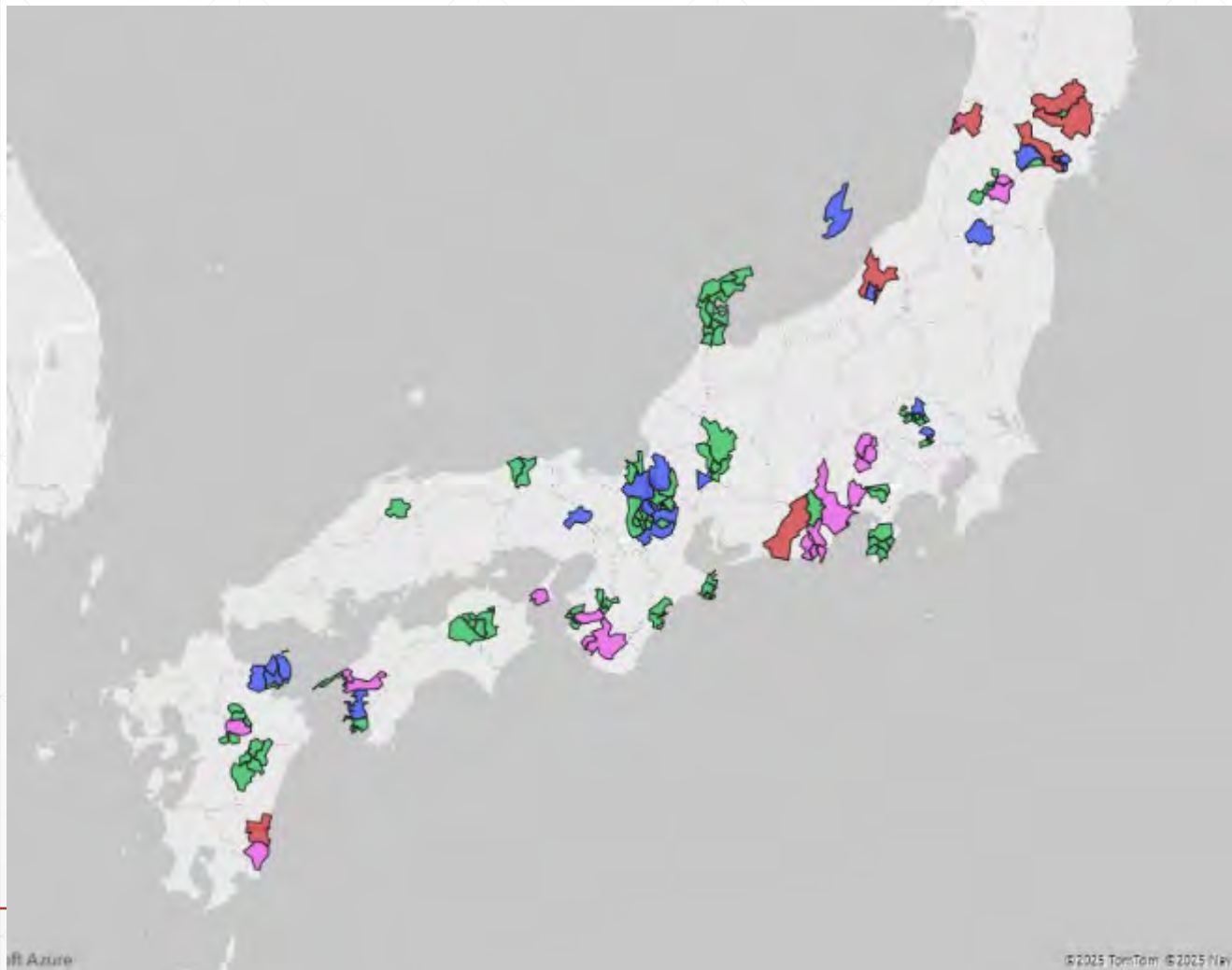
クラスターID

● 0

● 1

● 2

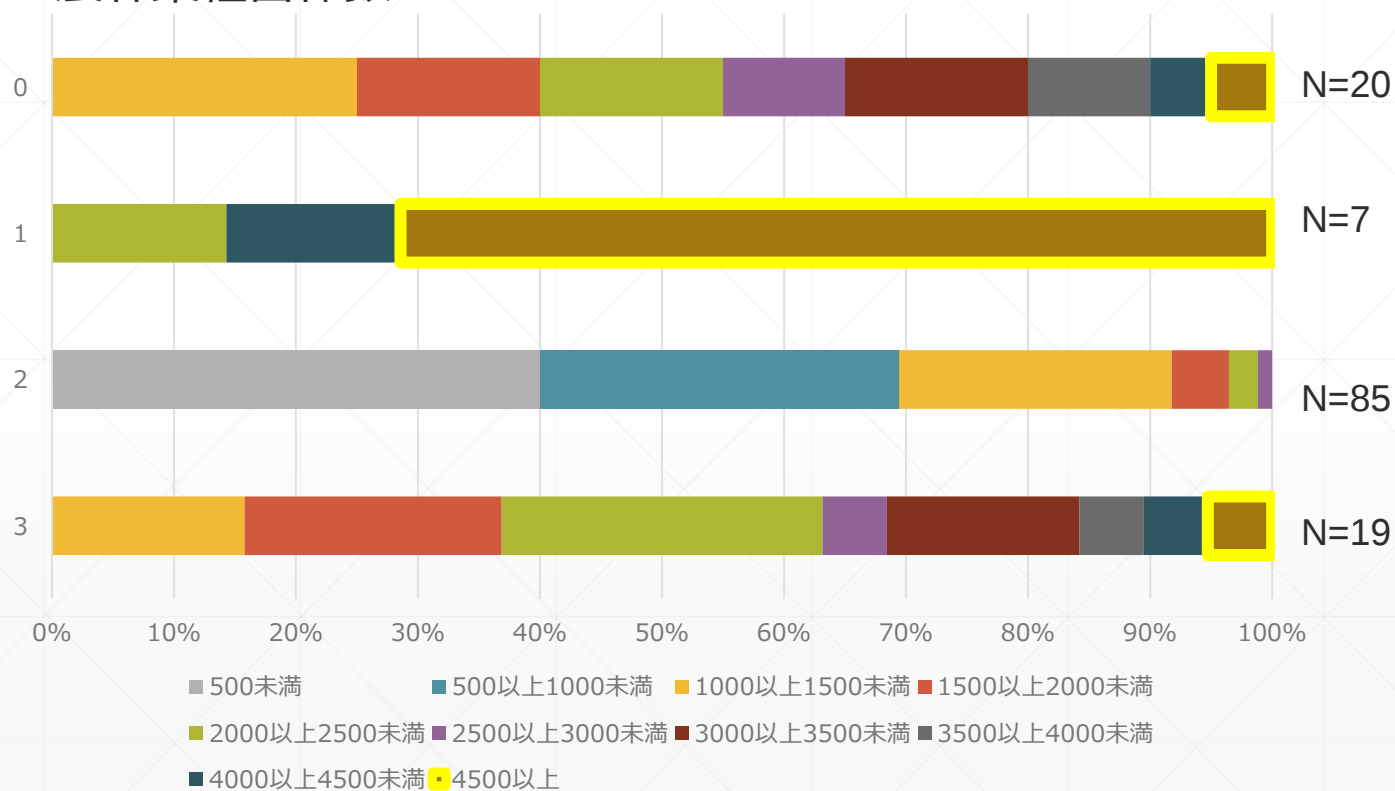
● 3



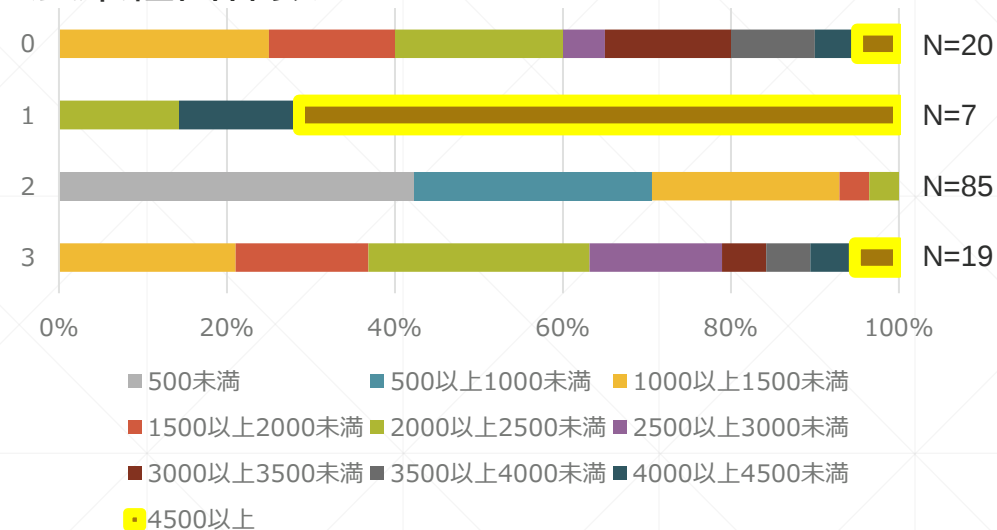
クラスター別の経営体数

ID:1は経営体数が多く、ID:2は経営体数が少ない市町村が多い。

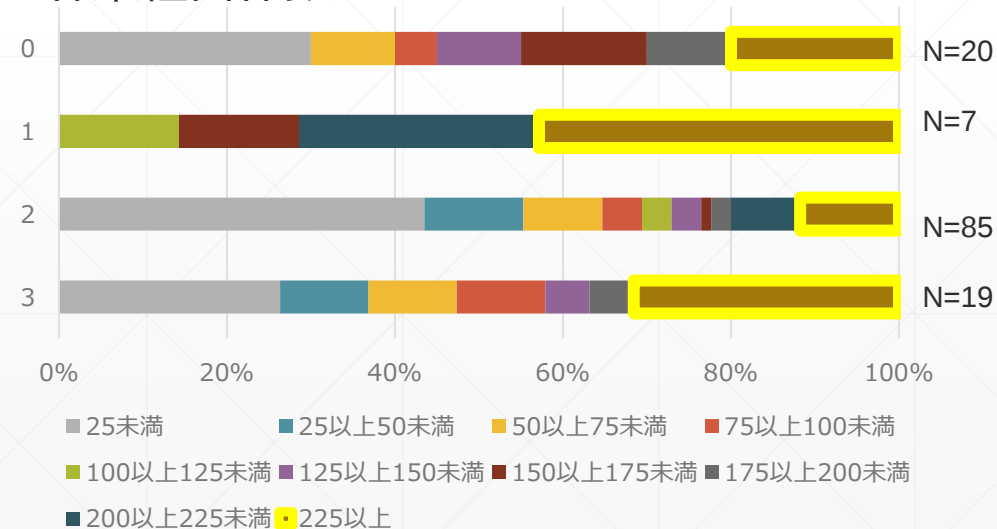
農林業経営体数



農業経営体数



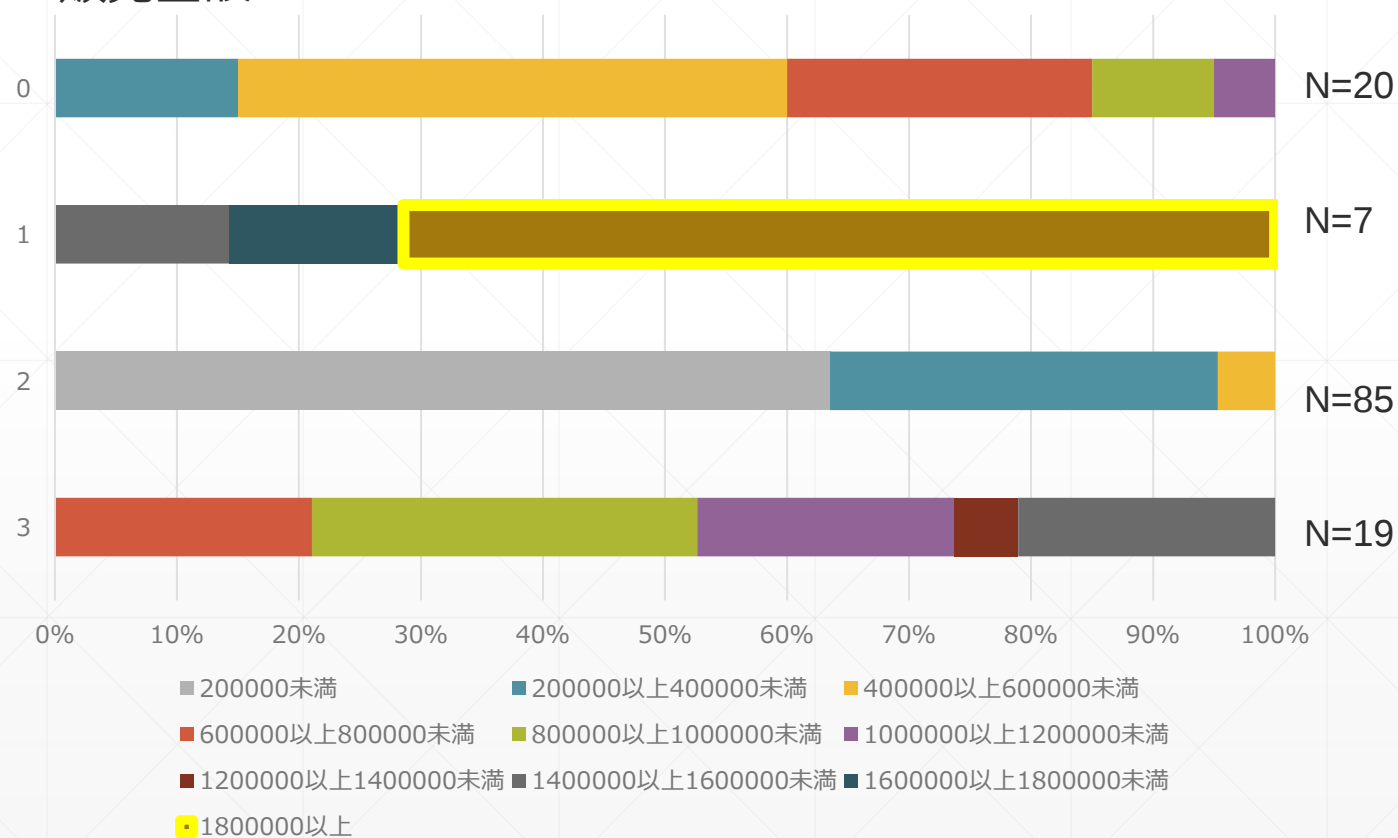
林業経営体数



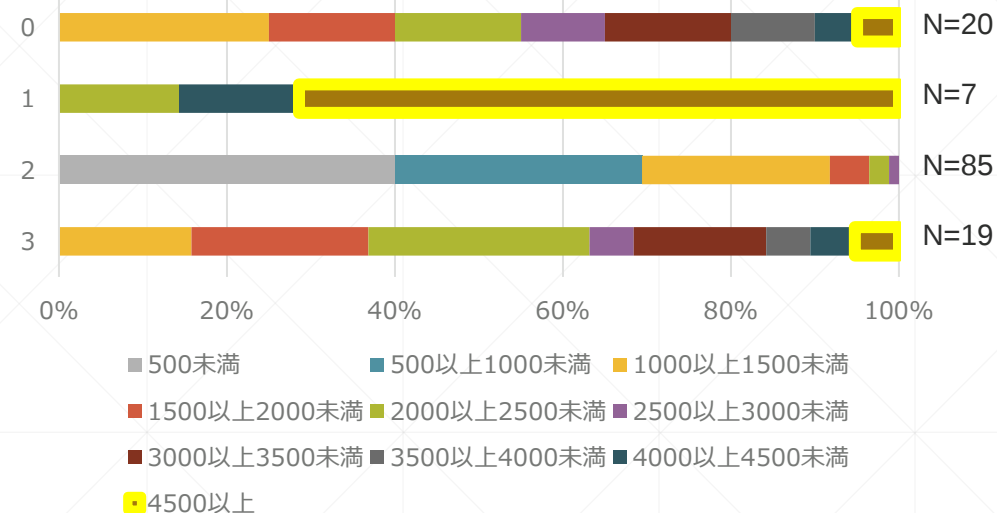
クラスター別の販売金額

ID:1とID:3は販売金額及び販売金額(平均)が高く、ID:2は低い市町村が多い。

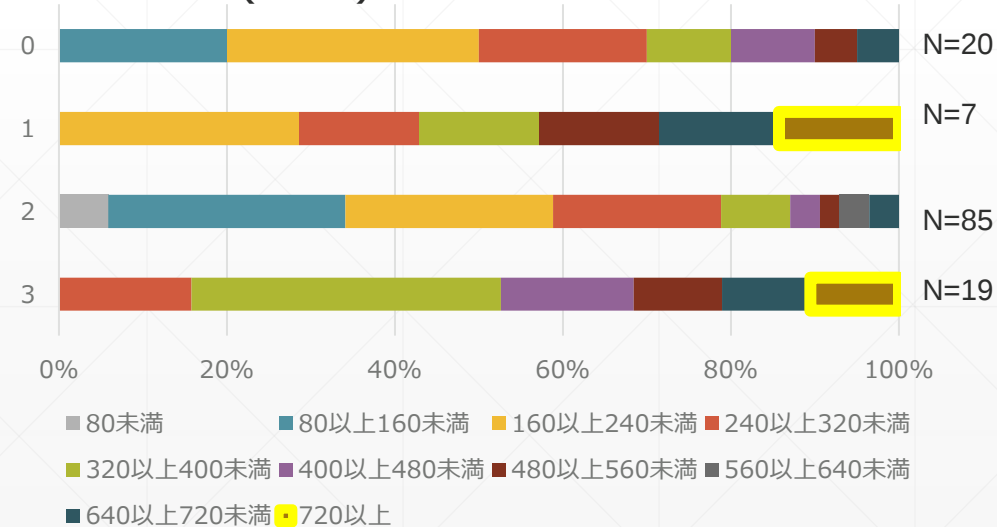
販売金額



販売金額がある経営体数



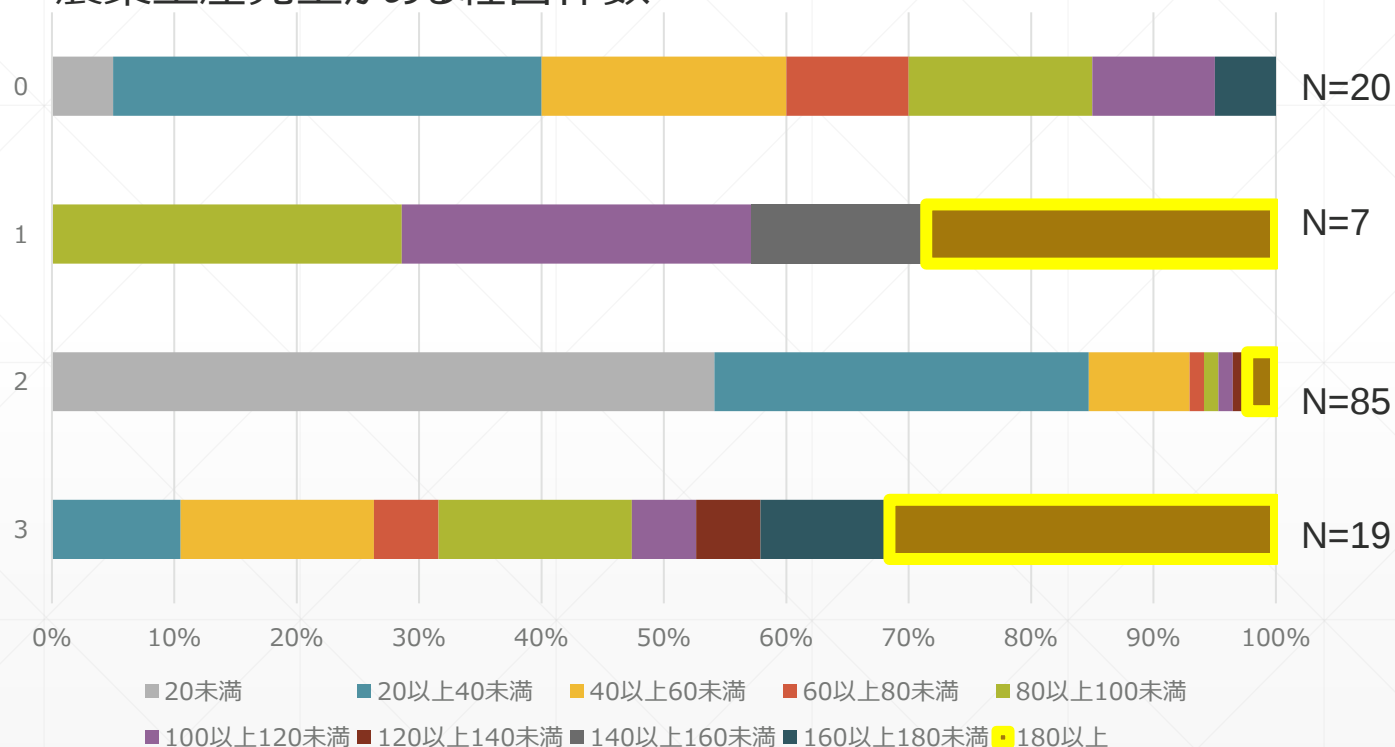
販売金額(平均)



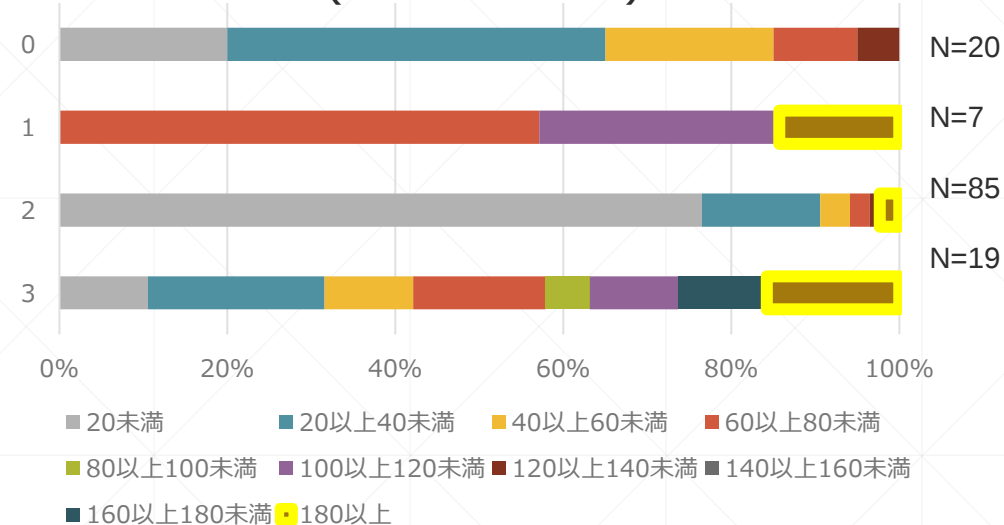
クラスター別の農業生産売上

ID:1とID:3は農業生産売上有る経営体数が多い市町村が多い。

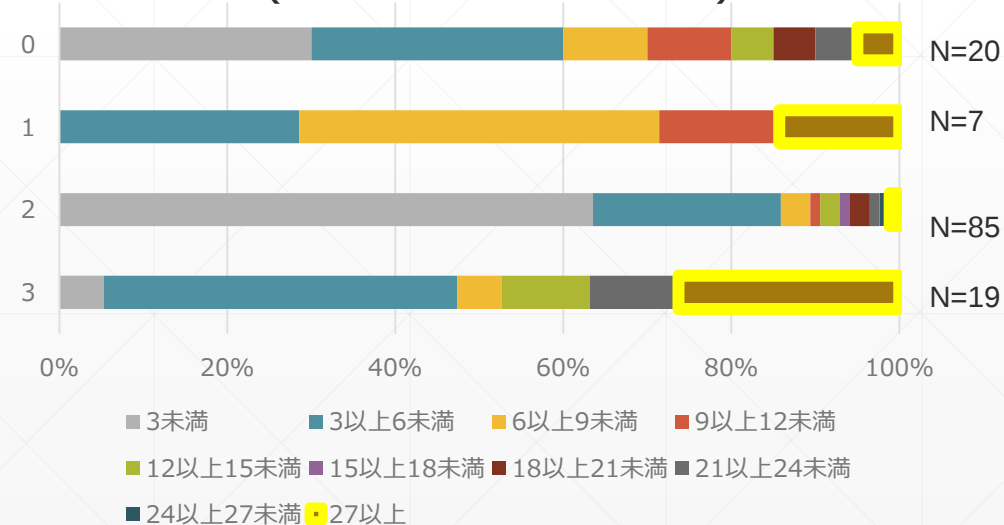
農業生産売上有る経営体数



農業生産売上(農作物の加工)がある経営体



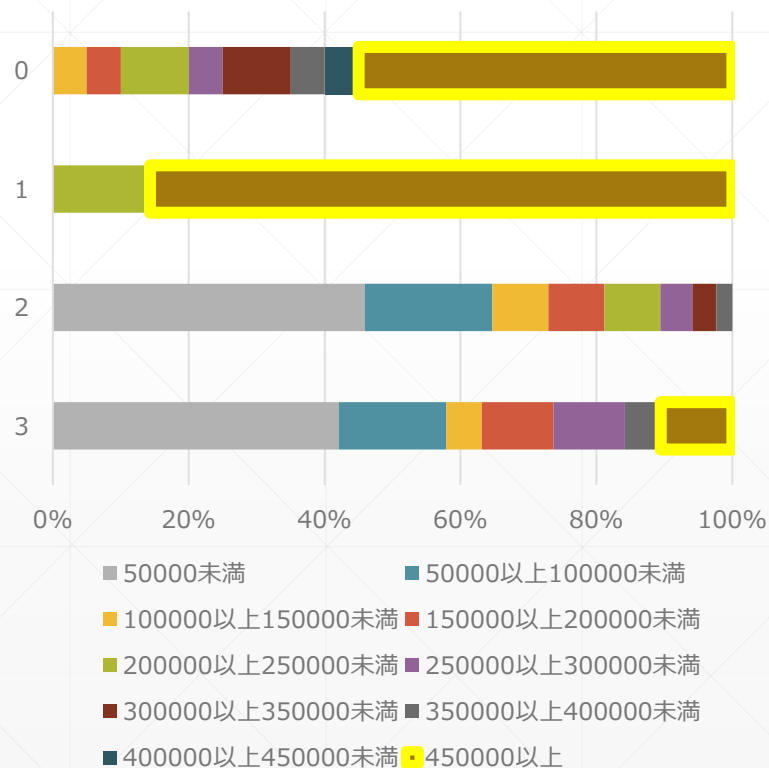
農業生産売上(貸農園・体験農園など)がある経営体



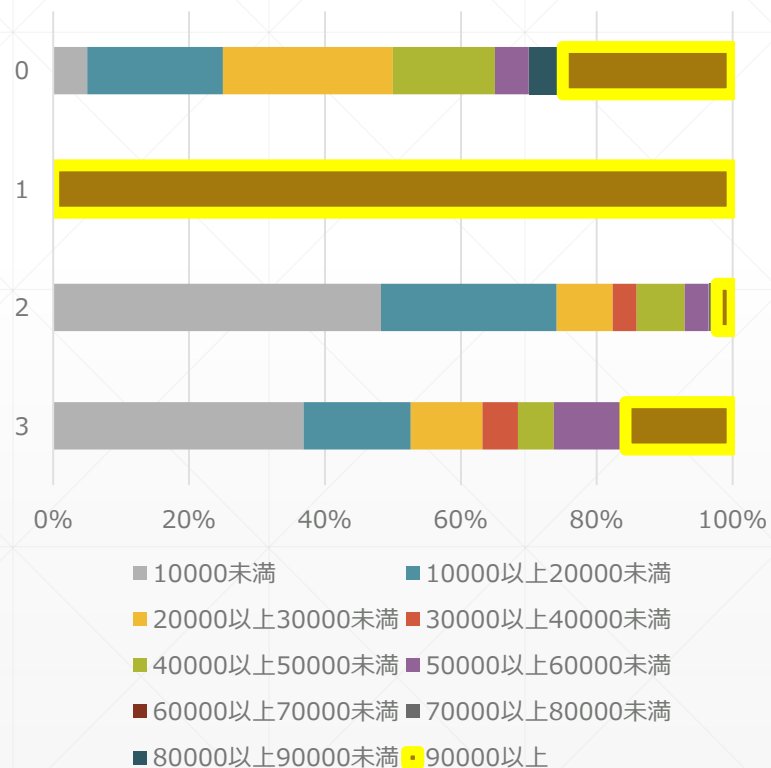
クラスター別の田・畑・樹園地

ID:0とID:1は田及び畑の面積が大きい市町村が、ID:3は樹園地の面積が大きい市町村が多い。

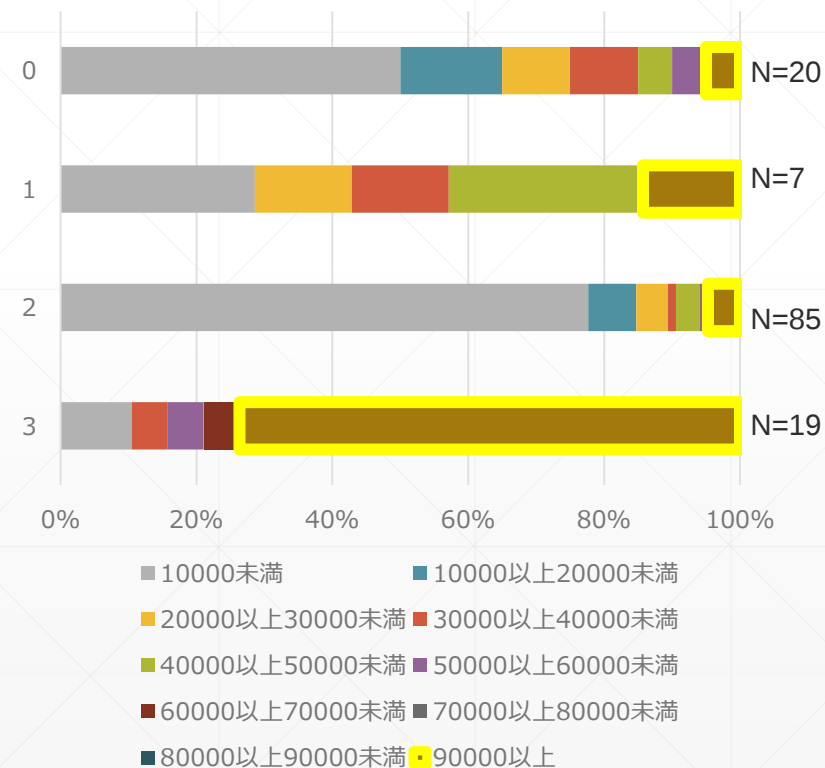
経営 + 借りている田の面積



経営 + 借りている畑の面積

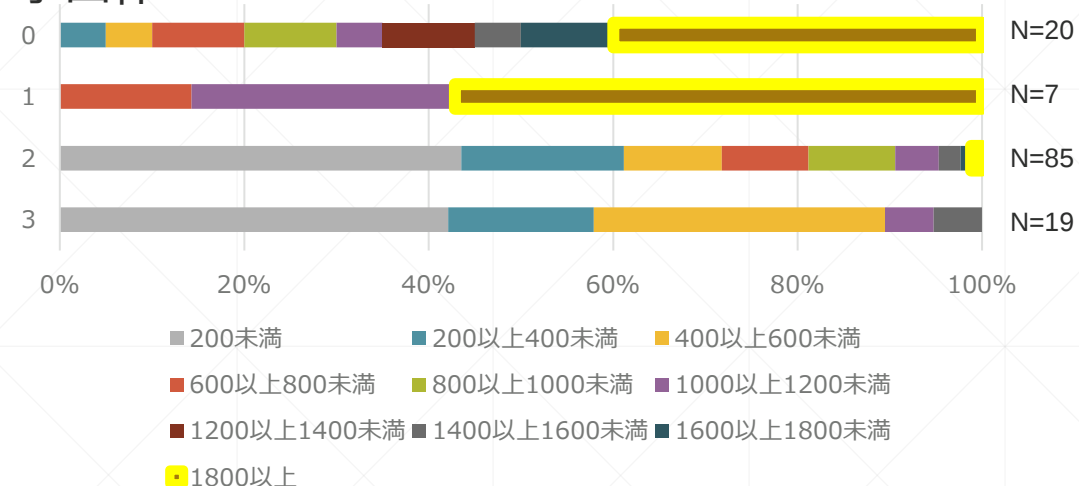


経営 + 借りている樹園地の面積

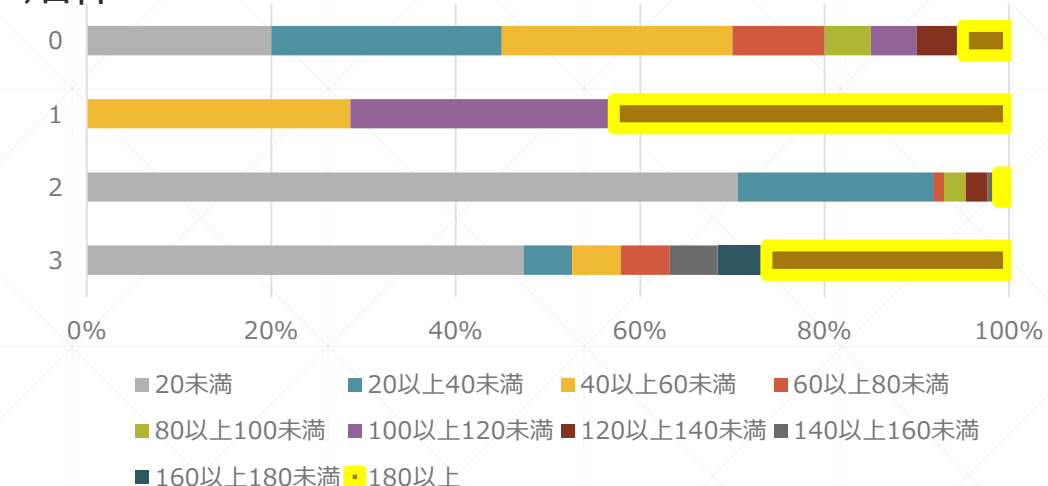


クラスター別の部門別販売金額1位の経営体

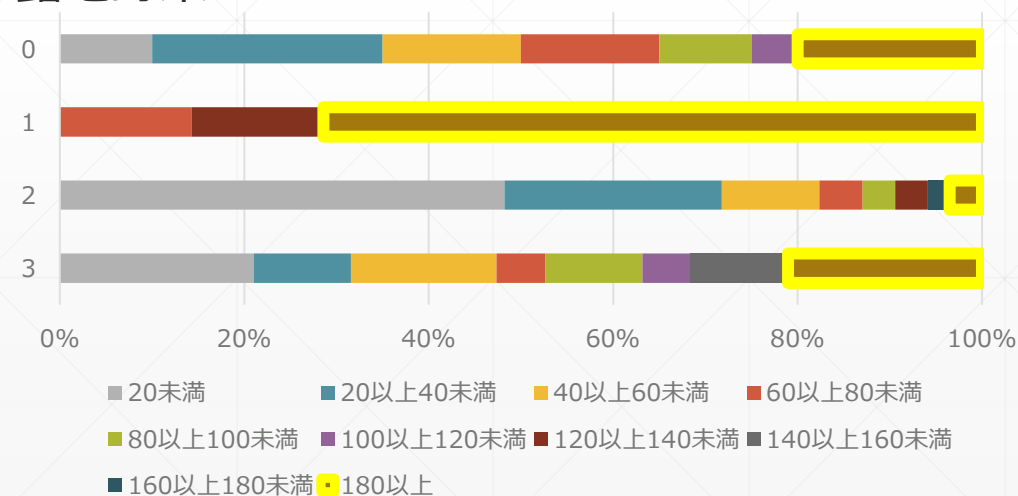
水田作



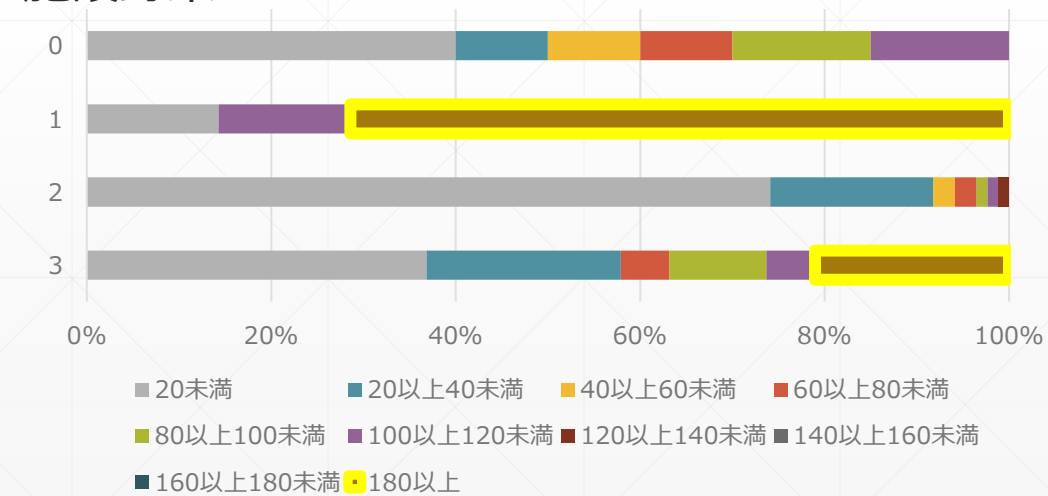
畑作



露地野菜

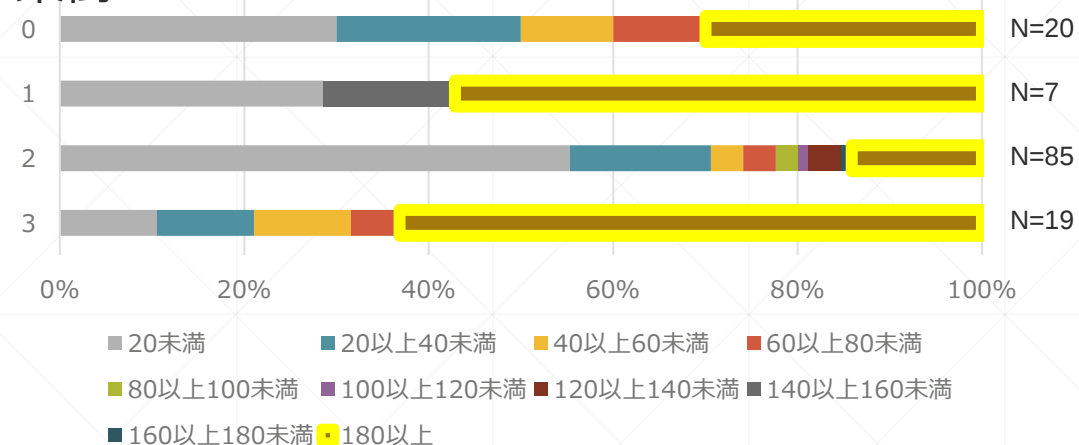


施設野菜

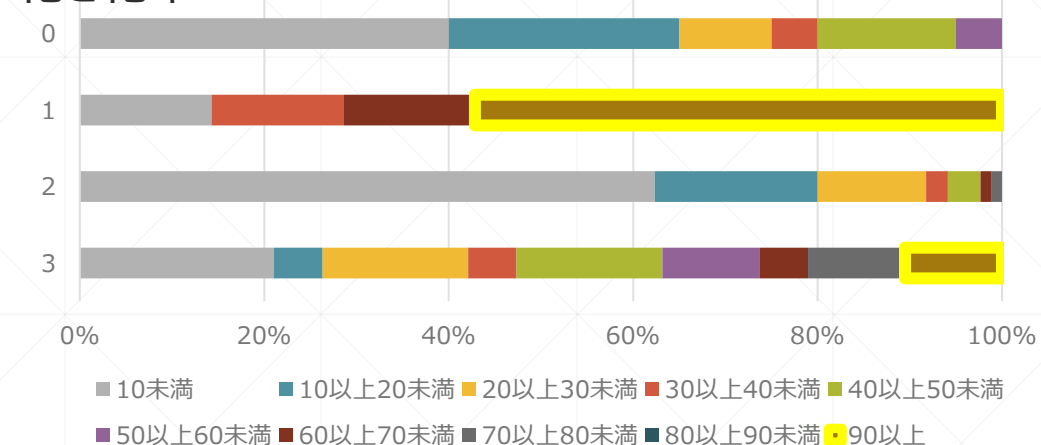


クラスター別の部門別販売金額1位の経営体

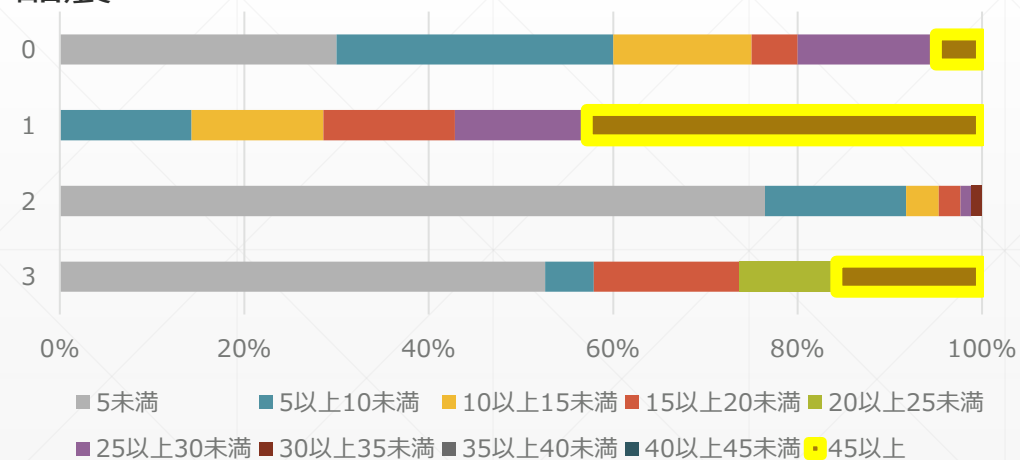
果樹



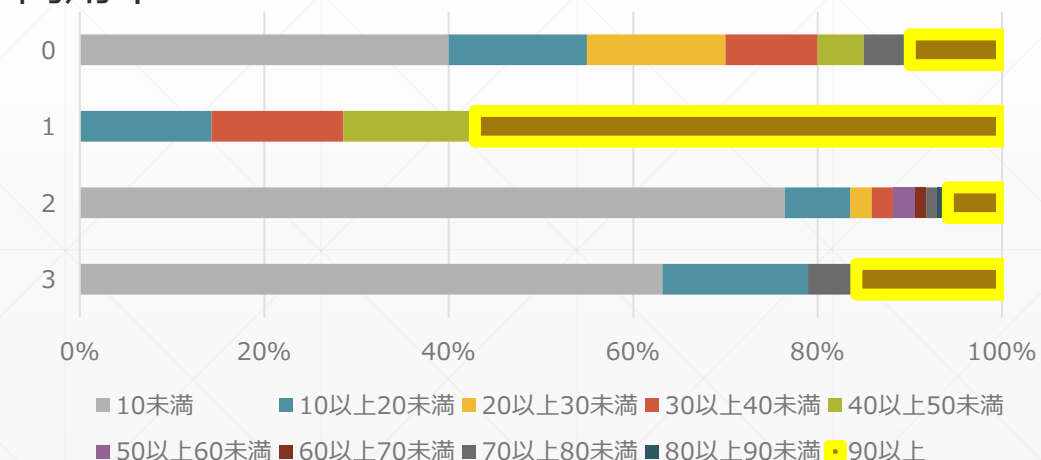
花き花木



酪農



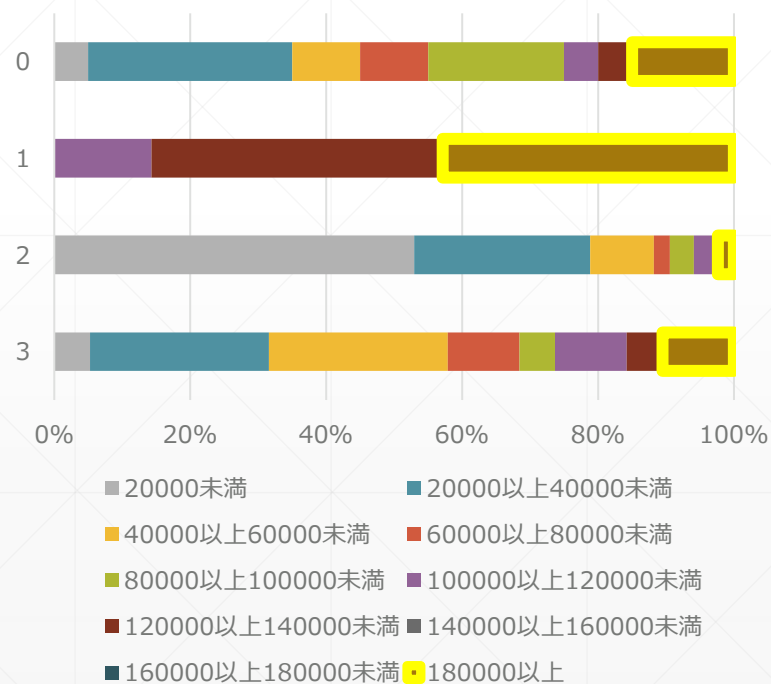
肉用牛



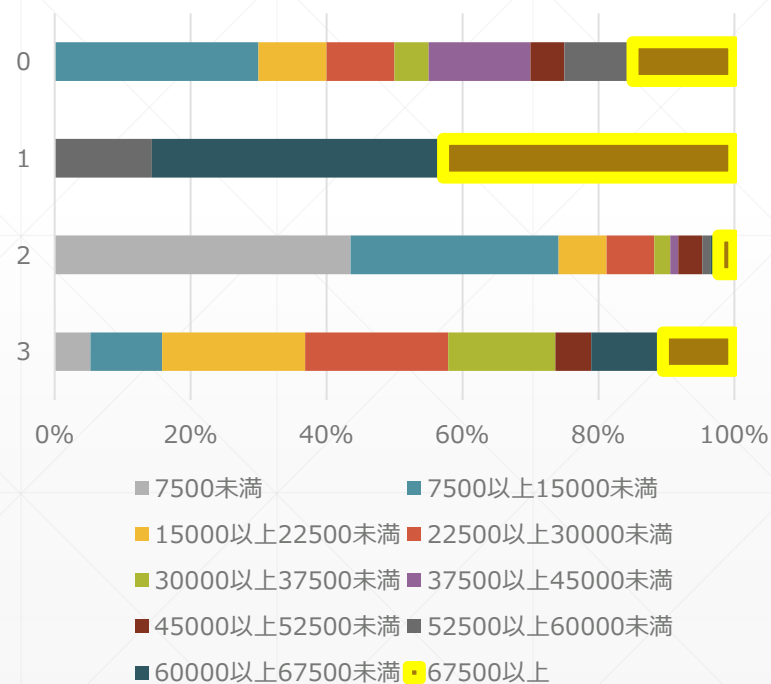
クラスター別の人口・就業人口・世帯数

ID:1は人口・就業人口・世帯数の多い市町村が多く、ID:2は少ない市町村が多い。

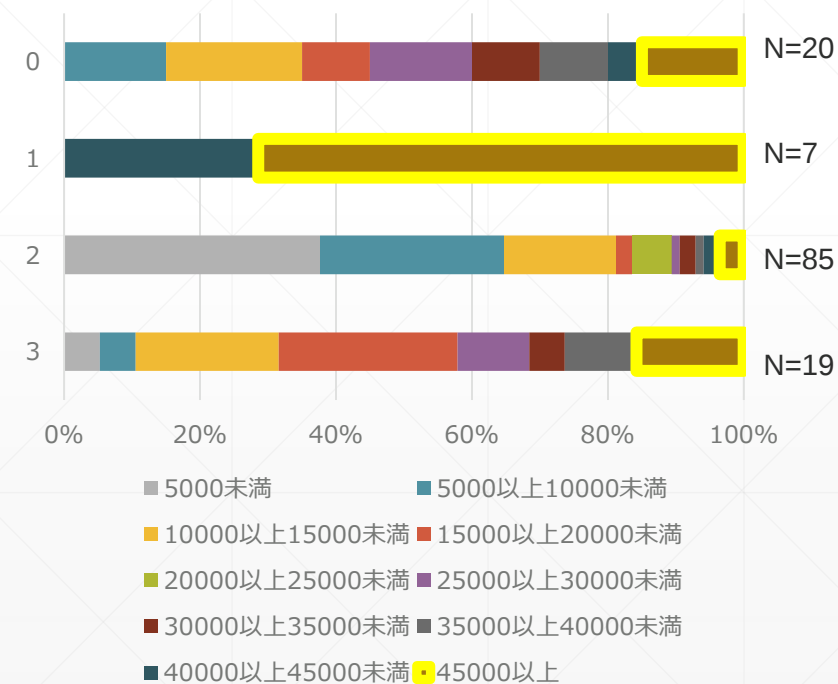
人口



就業人口



世帯数



(3) 効果検証結果① 経済(農林業)効果

認定前後において、認定地域の各種経済指標の伸び率を非認定地域と比較する事で、認定に伴う経済的な効果を把握する。

効果検証①経済(農林業)効果

認定前後の農林業に関する経済的な効果を確認するため、認定地域及び非認定地域の市町村について、経済的な各指標に係る認定前後での伸び率の差を認定期間別・クラスター別で比較した。

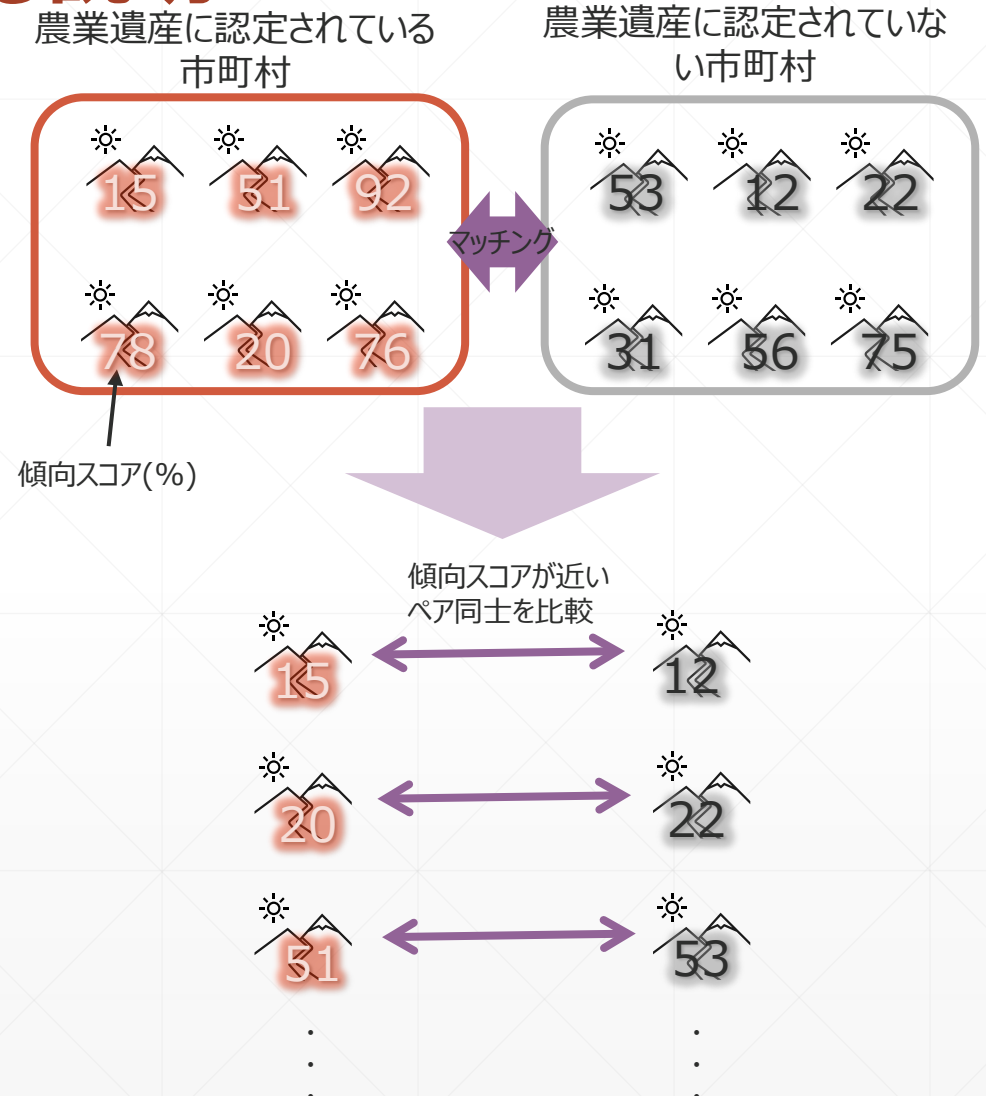
比較に当たっては、認定されたこと以外の諸条件の違いによるバイアスを可能な限り取り除くため、傾向スコアマッチング及び差の差の検定を実施した。

効果検証の分析方法

1. 各市町村について、以下の各変数に係る2010年の数値を用いて傾向スコアを算出。
 - 農業経営体数,林業経営体数,農林業経営体数
 - 販売金額がある経営体数,販売金額,販売金額(平均)
 - 農業生産売上有る経営体数
 - 経営している田,借りている田,経営している畑,借りている畑,経営している樹園地,借りている樹園地
 - 就業人口,人口,世帯数
2. 農業遺産に認定されている131市町村を介入群とした上で、認定されていない市町村とで傾向スコアによるマッチングを実施し、対照群となる市町村を抽出。
3. 介入群と対照群について、各種指標の認定前後の伸び率※の平均に対する差の検定（差の差の検定）を実施。
※例：2010年→2015年の伸び率 = $(\text{指標}_{2015\text{年}} - \text{指標}_{2010\text{年}}) / ((\text{指標}_{2010\text{年}} + \text{指標}_{2015\text{年}}) / 2)$

【補足】傾向スコアマッチングに関する説明

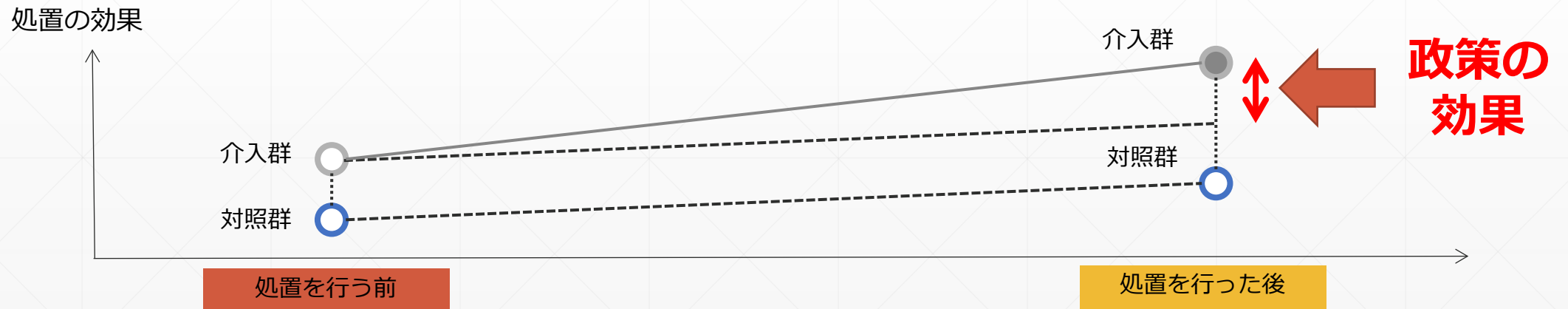
- 本分析では、処置の効果(本分析では農業遺産認定の効果)を把握するために、分析対象を処置を実施した介入群(農業遺産に認定されている市町村)と実施していない対照群(農業遺産に認定されていない市町村)とに分けて比較を行う。
- その際、比較するグループ間で処置以外の因子や条件が異なっているときに生じるバイアス(例えば、認定されている市町村の方が農業産出額が大きい等)を除去するために、傾向スコアマッチングという手法を用いる。
- 具体的には、処置を実施した介入群と似たような属性を持つ対照群を選択するために、複数の変数を用いて、各データについて「その処置が実施される確率(傾向スコア)」を測定し、介入群データの傾向スコアと近いスコアをもつデータを対照群から探してマッチングさせる。



【補足】差の差分析に関する説明

- 差の差分析とは政策による効果など、把握したい処置の効果に関して、
 - ・当該処置を実施したグループ（介入群）と、
 - ・処置を実施しなかったグループ（対照群）について、それぞれ処置を行った前後の差を測定・比較することで、処置に伴う直接の効果を推定する方法である。
- なお、今回は、政策の効果の有無を検証する手法として、「平均の差の検定（※）」を使用する。

※ 平均の差の検定には、「P値」という数値を用いる。P値は、2 群の平均には差がないとする仮説（帰無仮説）が 成立する確率を表す数値であり、本数値が低いほど、2 群の平均 には差があると言える確率が高い（＝統計的に有意な差がある）と判断できる。



効果検証結果一覧 農林業センサス指標(1)

期間	指標	効果※	伸び率		p値
			認定地域	非認定地域	
期間A 2010→2015	農業経営体数		-0.21	-0.15	0.27
	林業経営体数		-0.38	-0.14	0.18
	農林業経営体数		-0.21	-0.21	0.89
	販売金額がある経営体数	○	-0.35	-0.41	0.42
	販売金額		-0.15	-0.08	0.28
	販売金額平均		0.20	0.33	0.12
	農業生産売上がある経営体数		-0.42	-0.36	0.66
期間B 2015→2020	農業経営体数		-0.30	-0.23	0.10
	林業経営体数	○	-1.01	-1.02	0.98
	農林業経営体数		-0.31	-0.27	0.17
	販売金額がある経営体数		-0.29	-0.20	0.16
	販売金額	○	0.26	0.18	0.50
	販売金額平均	○	0.54	0.41	0.17
	農業生産売上がある経営体数	○	0.779	0.777	0.99
期間C 2010→2020	農業経営体数		-0.49	-0.39	0.16
	林業経営体数		-1.22	-1.06	0.23
	農林業経営体数		-0.51	-0.47	0.35
	販売金額がある経営体数		-0.62	-0.61	0.87
	販売金額	○	0.12	0.10	0.89
	販売金額平均	○	0.72	0.66	0.62
	農業生産売上がある経営体数		0.40	0.46	0.76

2011年、2013年に認定された地域（市町村 N=26）について、農林業センサスの各指標の伸び率を非認定地域と比較したところ、「販売金額」「販売金額平均」等において、認定されていない市町村より高い伸び率が確認されたが、統計的に有意な差は確認できなかった。

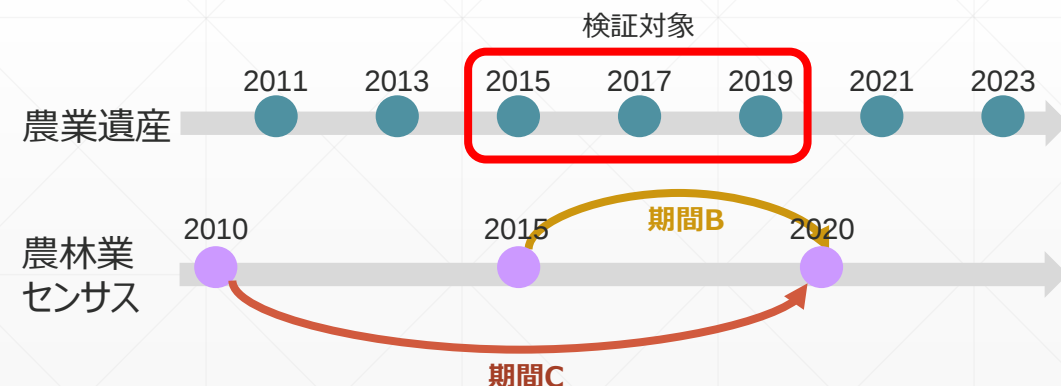


※認定地域の方が非認定地域より伸び率が高い場合：○、統計的に有意水準10%で伸び率が高い場合：◎

効果検証結果一覧 農林業センサス指標(2)

期間	指標	効果※	伸び率		p値
			認定地域	非認定地域	
期間B 2015→2020	農業経営体数		-0.25	-0.24	0.85
	林業経営体数		-0.95	-0.80	0.14
	農林業経営体数	○	-0.256	-0.263	0.75
	販売金額がある経営体数		-0.26	-0.25	0.78
	販売金額	○	0.21	0.21	0.87
	販売金額平均	○	0.46	0.44	0.67
	農業生産売上有る経営体数	◎	0.83	0.63	0.06
期間C 2010→2020	農業経営体数		-0.45	-0.43	0.44
	林業経営体数		-1.26	-0.95	0.00
	農林業経営体数		-0.48	-0.47	0.78
	販売金額がある経営体数	○	-0.62	-0.65	0.48
	販売金額	○	0.11	0.10	0.85
	販売金額平均	○	0.707	0.706	0.98
	農業生産売上有る経営体数	○	0.48	0.37	0.29

2015～2019年に認定された地域（市町村 N=79）について、農林業センサスの各指標の伸び率を非認定地域と比較したところ、「販売金額」、「販売金額平均」、「農業生産売上有る経営体数」等において、認定されていない市町村より高い伸び率が確認されたが、統計的に有意な差はほとんど確認できなかった。



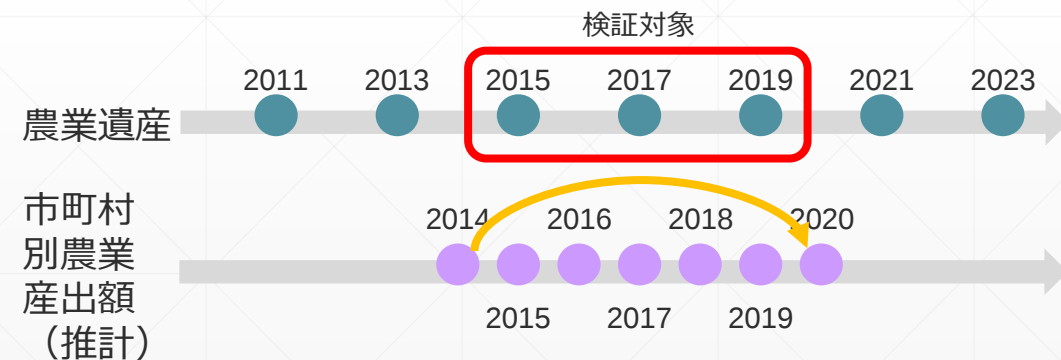
※認定地域の方が非認定地域より伸び率が高い場合：○、統計的に有意水準10%で伸び率が高い場合：◎

効果検証結果一覧 市町村別農業産出額（推計）

			伸び率			
期間	指標		効果※	認定地域	非認定地域	p値
2014→2019	市町村別農業 産出額（推計	全体	○	0.08	0.02	0.25
		クラスターID:0	○	0.12	0.04	0.25
		クラスターID:1		0.17	0.25	0.78
		クラスターID:2		0.05	0.09	0.38
		クラスターID:3	◎	0.15	-0.46	0.04
	市町村別農業 産出額（推計 （耕種）	全体	○	0.08	-0.01	0.11
		クラスターID:0	◎	0.16	-0.03	0.09
		クラスターID:1	○	0.19	0.02	0.15
		クラスターID:2		0.04	0.08	0.32
		クラスターID:3	◎	0.20	-0.46	0.02
	市町村別農業 産出額（推計 （畜産）	全体		-0.15	-0.04	0.31
		クラスターID:0		-0.07	0.03	0.48
		クラスターID:1		-0.09	0.43	0.44
		クラスターID:2		-0.13	-0.05	0.59
		クラスターID:3		-0.40	-0.18	0.50

2015～2019年に認定された地域（市町村 N=79）について、市町村別農業産出額（推計）の各指標の伸び率を非認定地域と比較したところ、「市町村別農業産出額（推計）」、「市町村別農業産出額（推計）（耕種）」において、認定されていない市町村より高い伸び率が確認されたが、統計的に有意な差は確認できなかった。

クラスター別ではID:0、ID:3 は「市町村別農業産出額（推計）」、ID:0、ID:1、ID:3は「市町村別農業産出額（推計）（耕種）」において高い伸び率が確認され、一部が統計的に有意な差があった。

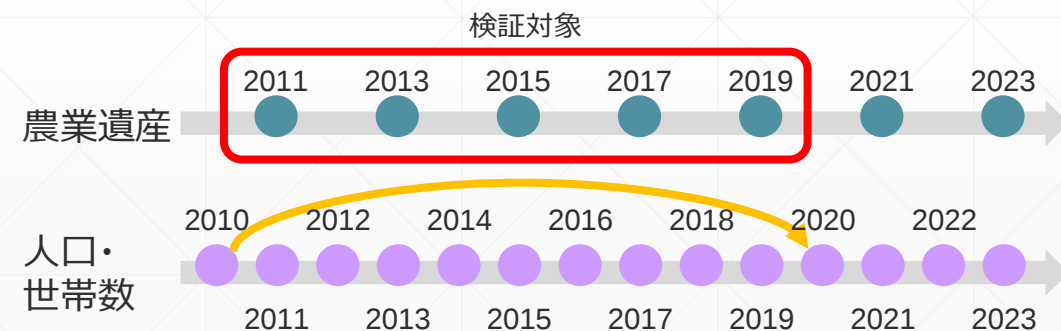


※認定地域の方が非認定地域より伸び率が高い場合：○、統計的に有意水準10%で伸び率が高い場合：◎

効果検証結果一覧 人口・世帯数

期間	指標	効果※	伸び率		p値
			認定地域	非認定地域	
2010→2020	人口		-0.10	-0.10	0.81
	世帯数	○	0.04	0.03	0.70

2011～2019年に認定された地域（市町村 N=105）について、人口・世帯数の伸び率を非認定地域と比較したところ、「世帯数」において、認定されていない市町村より高い伸び率が確認されたが、統計的に有意な差は確認できなかった。

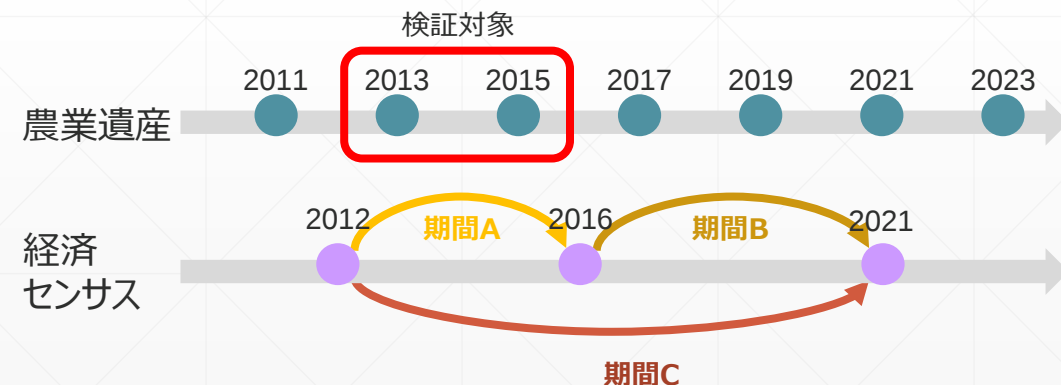


※認定地域の方が非認定地域より伸び率が高い場合：○、統計的に有意水準10%で伸び率が高い場合：◎

効果検証結果一覧 経済センサス(1)

期間	指標	効果※	伸び率		p値
			認定地域	非認定地域	
期間A 2012→2016	製造品出荷額等	○	0.26	-0.01	0.36
	粗付加価値額	○	0.22	0.08	0.67
	売上金額	○	0.33	0.15	0.36
			-0.02	0.11	0.17
	付加価値額	○	0.39	0.17	0.33
			0.06	0.03	0.84
期間B 2016→2021	製造品出荷額等	○	-0.15	-0.19	0.82
	粗付加価値額		-0.14	-0.12	0.94
	売上金額	○	0.17	0.49	0.12
			-0.22	-0.31	0.33
	付加価値額	○	0.05	0.41	0.14
			-0.35	-0.42	0.76
期間C 2012→2021	製造品出荷額等	○	0.12	-0.21	0.21
	粗付加価値額	○	0.09	-0.04	0.67
	売上金額	○	0.50	0.59	0.64
			-0.25	-0.18	0.62
	付加価値額	○	0.09	0.58	0.23
			-0.26	-0.39	0.63

2013、2015年に認定された地域（市町村 N=27）について、経済センサスの各指標の伸び率を非認定地域と比較したところ、「製造品出荷額等」、「粗付加価値」、「売上金額」、「付加価値額」の一部において、認定されていない市町村より高い伸び率が確認されたが、統計的に有意な差は確認できなかった。

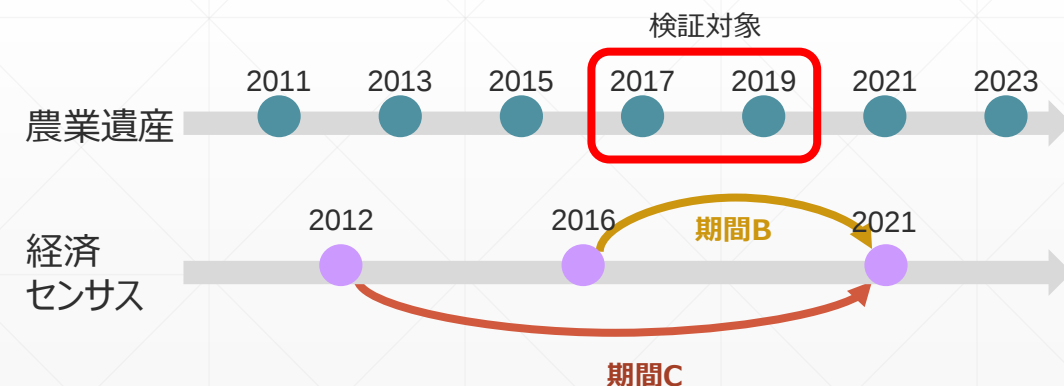


※認定地域の方が非認定地域より伸び率が高い場合：○、統計的に有意水準10%で伸び率が高い場合：◎

効果検証結果一覧 経済センサス(2)

			伸び率			
期間	指標		効果※	認定地域	非認定地域	p値
期間B 2016→2021	製造品出荷額等		○	0.00	-0.13	0.31
	粗付加価値額		○	0.02	-0.06	0.59
	売上金額	農林漁業	○	0.30	0.25	0.68
		宿泊飲食サービス業		-0.26	-0.21	0.21
	付加価値額	農林漁業	○	-0.002	-0.003	1.00
		宿泊飲食サービス業		-0.46	-0.34	0.41
期間C 2012→2021	製造品出荷額等		○	0.12	0.08	0.84
	粗付加価値額			0.12	0.19	0.72
	売上金額	農林漁業	○	0.56	0.40	0.24
		宿泊飲食サービス業		-0.06	-0.03	0.52
	付加価値額	農林漁業	○	0.30	0.13	0.27
		宿泊飲食サービス業		-0.11	-0.08	0.72

2017、2019年に認定された地域（市町村 N=68）について、経済センサスの各指標の伸び率を非認定地域と比較したところ、「製造品出荷額等」「売上金額(農林漁業)」、「付加価値額(農林漁業)」と「粗付加価値」の一部において、認定されていない市町村より高い伸び率が確認されたが、統計的に有意な差は確認できなかった。



※認定地域の方が非認定地域より伸び率が高い場合：○、統計的に有意水準10%で伸び率が高い場合：◎

(4) 効果検証結果② 経済(観光)効果

認定前後において、認定地域における各種観光指標を可視化するとともに、その伸び率を非認定地域と比較する事で、認定に伴う観光に対する効果を把握する。

効果検証②経済(観光)効果

農業遺産の認定地域について、観光客入込客数及び農泊宿泊者数という観点から地域のパターン分けを行うとともに、認定地域と非認定地域の市町村について、観光に関する各指標に係る認定前後での伸び率の差を比較した。

認定地域の観光指標の可視化及び効果検証の方法

1. 各認定地域における観光に関わる状況を把握するため、以下の指標の集計及び可視化を行う。
 - 観光入込客数(2013-2019年の合計値)
 - 農泊宿泊者数(2017-2022年の合計値)

2. 認定による経済(観光)効果を把握するため、経済(農林業)効果において用いた傾向スコアマッチング及び差の検定の方法を用いて、以下の指標について認定地域と非認定地域を比較する。
 - 観光入込客数
 - 農泊宿泊者数
 - 農泊施設数

農業遺産認定地域別の観光入込客数の可視化



○2013～2019の市町村別データ
合計値

○観光入込客数が多い～少ない
濃い赤～薄い青で表示

・滋賀県大津市
・三重県鳥羽市・志摩市
・宮崎県宮崎市
・静岡県浜松市

・静岡県伊豆市、東伊豆市、下田市、静岡市
・石川県七尾市
・山形県山形市
・熊本県南小国町

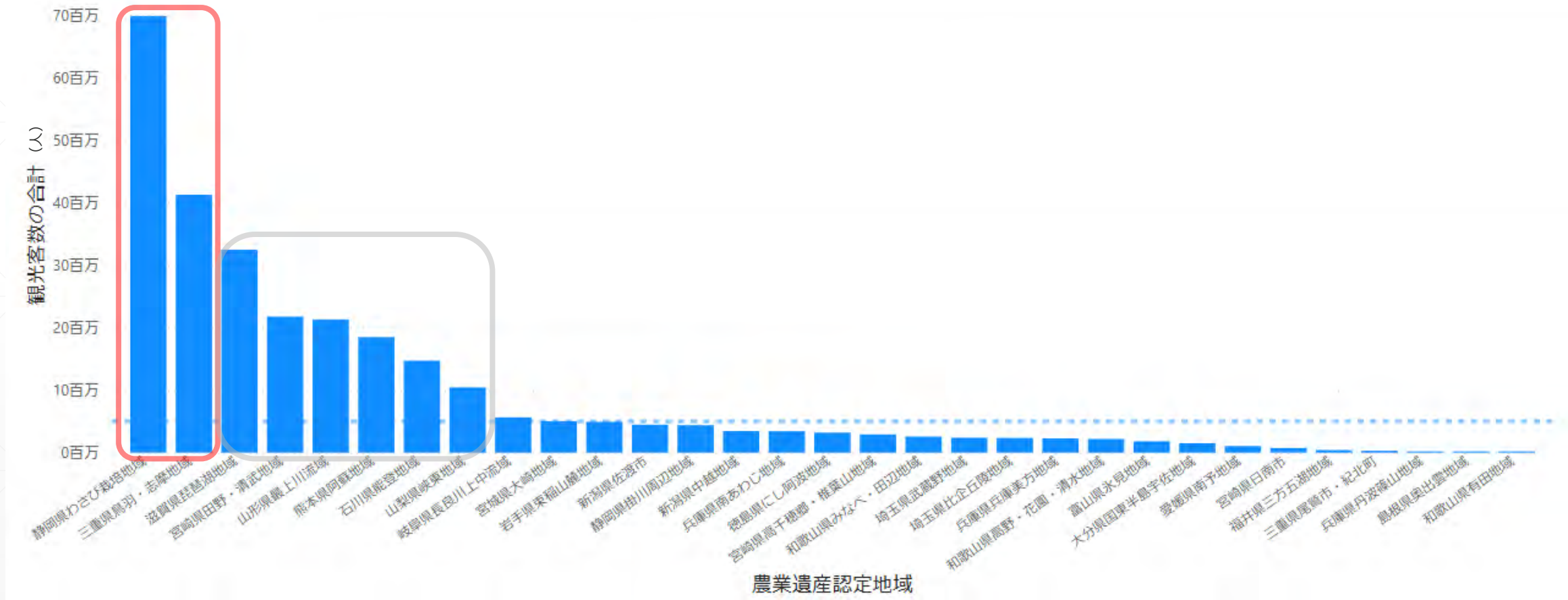
・新潟県佐渡市
・宮崎県大崎市
・滋賀県長浜市、彦根市
・岐阜県岐阜市
・熊本県阿蘇市

その他市町村

農業遺産認定地域別の観光入込客数の比較

2013～2019年の観光入込客数を地域別に比較したところ、最大値は静岡県わさび栽培地域の約7000万人、最小値は和歌山県有田地域の約1万7千人と、地域差が大きく、32地域中23地域が500万人以下と全体的に少ない状況であった。
(全国市町村平均値は約250万人)

また、どの年においても 1 位は静岡県わさび栽培地域、2 位は三重県鳥羽・志摩地域であり、上位 8 地域は変わらなかった。



農業遺産認定地域別の観光入込客数の推移

全体的に大きな変化はないが、滋賀県大津市と熊本県南小国町で徐々に増加している。

2013



2016



2019



農業遺産認定地域別の農泊宿泊者数の可視化



○2017～2022の市町村別データ

※全市町村で2013～のデータがあるものではなく、存在するデータの合計値。

※各年のマッピングの特徴と全年合計のマッピングの特徴は類似

○農泊宿泊者が多い～少ない
濃い赤～薄い青で表示

・三重県鳥羽市
・静岡県浜松市

・静岡県富士宮市

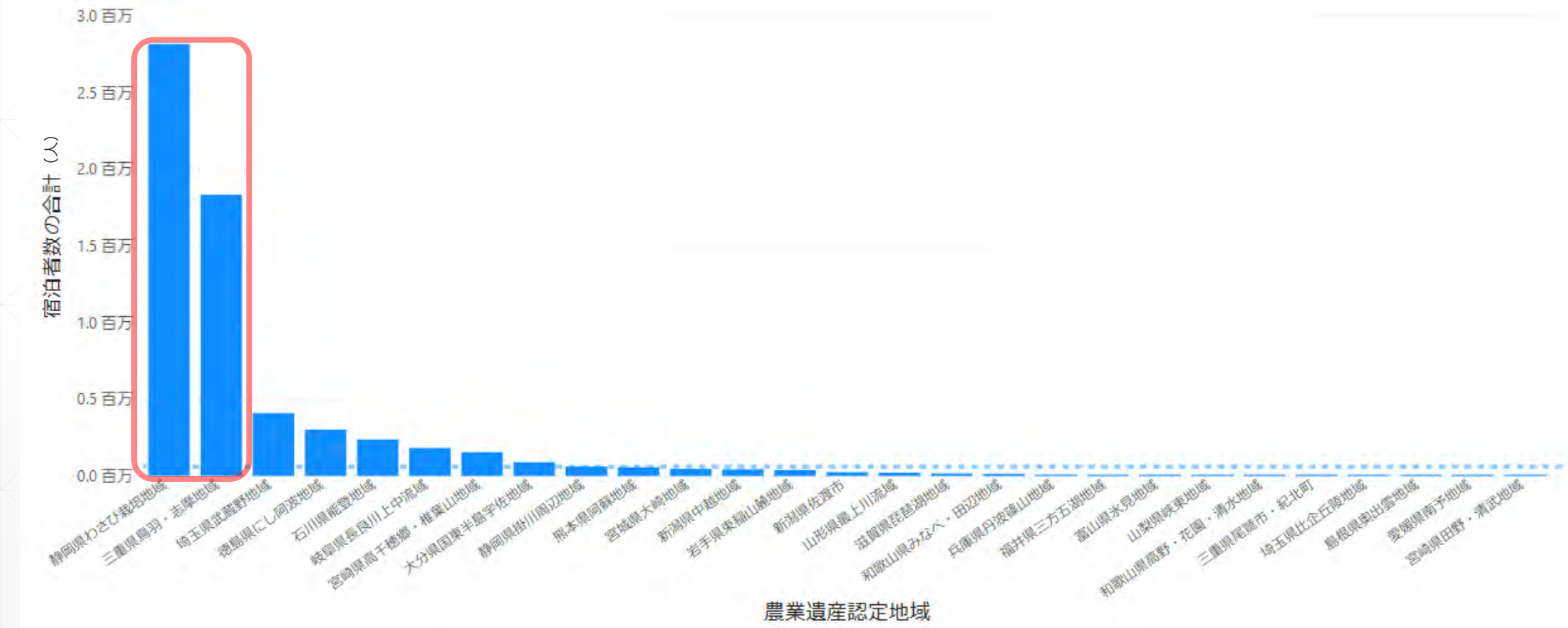
・岐阜県群上市
・石川県能登町
・埼玉県三芳町
・徳島県三好市他

その他市町村

農業遺産認定地域別の農泊宿泊者数の比較

2017～2022年の農泊宿泊者数を地域別に比較したところ、最大値は静岡県わさび栽培地域の280万人、最小値は愛媛県南予地域の567人と、地域差が大きく、28地域中18地域が6万人以下と全体的に少ない状況であった。(全国市町村平均値は6万人)

また、どの年においても 1 位は静岡県わさび栽培地域、2 位は三重県鳥羽・志摩地域であった。



農業遺産認定地域別の農泊宿泊者数の推移

2020年以降、静岡県富士宮市(2017年日本農業遺産、2018年世界農業遺産認定)で増加。2022年以降、宮崎県日之影町、岐阜県群上市(2015年世界農業遺産認定)、静岡県御殿場市(2017年日本農業遺産、2018年世界農業遺産認定)、埼玉県三芳町(2017年日本農業遺産、2023年世界農業遺産認定)で増加。

2017



2020



2022



農業遺産認定地域別の観光入込客数・農泊宿泊者数可視化のまとめ

- ✓ 観光入込客数、農泊宿泊者数ともに 1 位は静岡県わさび栽培地域、2 位は三重県鳥羽・志摩地域であった。
(静岡県わさび栽培地域は構成市町村数が多いことも影響している可能性がある)
- ✓ 地域差が大きく、多くの認定地域構成市町村は全国市町村平均値以下であった。
- ✓ 静岡県わさび栽培地域と三重県鳥羽・志摩地域に含まれる市町村の多くは、クラスター分析でID：2 に分類された地域で、観光入込客数の上位 7 地域についても、ID: 2 に分類された地域が多い。

観光入込客数（2013-2019合計）

- 多い地域
 - ・静岡県わさび栽培地域
 - ・三重県鳥羽・志摩地域
- 比較的多い地域
 - ・滋賀県琵琶湖地域
 - ・宮崎県田野・清武地域
 - ・山形県最上川流域
 - ・熊本県阿蘇地域
 - ・石川県能登地域
 - ・山梨県峡東地域

農泊宿泊者数（2017-2022合計）

- 多い地域
 - ・静岡県わさび栽培地域
 - ・三重県鳥羽・志摩地域
- 比較的多い地域
 - ・埼玉県武蔵野地域
 - ・徳島県にし阿波地域
 - ・石川県能登地域
 - ・岐阜県長良川上中流地域
 - ・宮崎県高千穂郷・椎葉山地域

農業遺産認定地域別の観光入込客数・農泊宿泊者数のパターン分け

観光入込客数及び農泊宿泊者数については、以下の4つにパターン分けできると考えられる。

①観光客・農泊宿泊者ともに多い～比較的多い地域

- ・静岡県わさび栽培地域
- ・三重県鳥羽・志摩地域
- ・石川県能登地域
- ・岐阜県長良川上中流地域

クラスター分析ではID:2の市町村が多い地域

②観光客は多いが農泊宿泊者は少ない地域

- ・山形県最上川流域
- ・山梨県峡東地域
- ・滋賀県琵琶湖地域
- ・宮崎県田野・清武地域
- ・熊本県阿蘇地域

クラスター分析ではID:0,2,3の市町村が多い地域

③農泊宿泊者は多いが観光客は少ない地域

- ・埼玉県武蔵野地域
- ・宮崎県高千穂郷・椎葉山地域
- ・徳島県にし阿波地域

クラスター分析ではID:2の市町村が多い地域

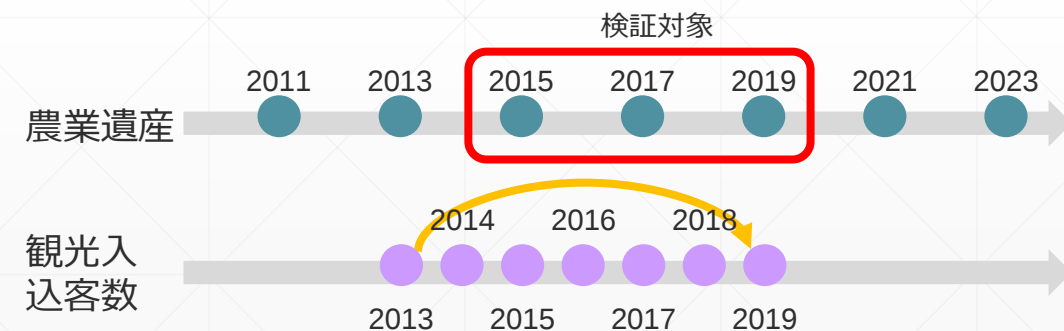
④観光客・農泊宿泊者ともに少ない地域

- ・①～③以外の17地域

効果検証結果一覧 観光入込客数

期間	指標		効果※	伸び率		p値
				認定地域	非認定地域	
2013→2019	観光入込客数	全体	○	0.07	0.00	0.68
		クラスターID:0		0.03	0.04	0.98
		クラスターID:1		-0.16	0.03	-
		クラスターID:2	○	0.04	-0.08	0.57
		クラスターID:3		0.27	0.32	0.92

2015～2019年に認定された地域（市町村 N=62）について、観光入込客数の伸び率を非認定地域と比較したところ、全体とクラスターID:2において、認定されていない市町村より高い伸び率が確認されたが、統計的に有意な差は確認できなかった。

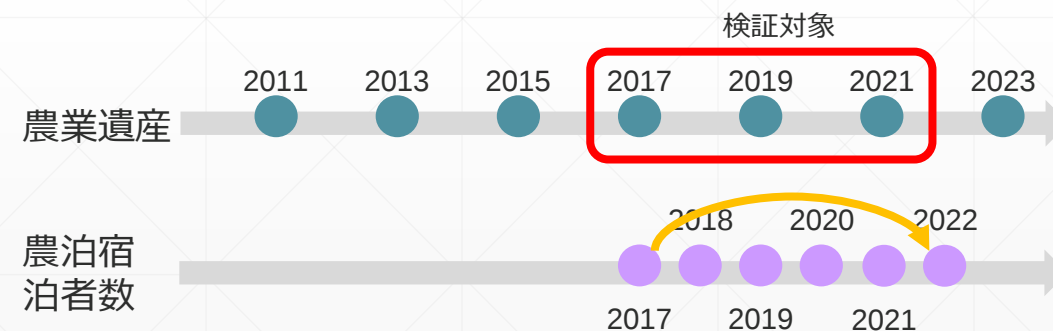


※認定地域の方が非認定地域より伸び率が高い場合：○、統計的に有意水準10%で伸び率が高い場合：◎

効果検証結果一覧 農泊宿泊者数

期間	指標	認定年	効果※	伸び率		p値
				認定地域	非認定地域	
2017→2022	農泊宿泊者数	2017年	◎	0.69	-1.15	0.01
		2019年	◎	1.13	0.05	0.09
		2021年	○	1.02	0.08	-

2017、2019、2021年に認定された地域（市町村 N=30）について、農泊宿泊者数の伸び率を非認定地域と比較したところ、いずれの認定年でも認定地域の方が非認定地域より伸び率が高く、2017年と2019年に認定された地域ではその差が統計的に有意であった。

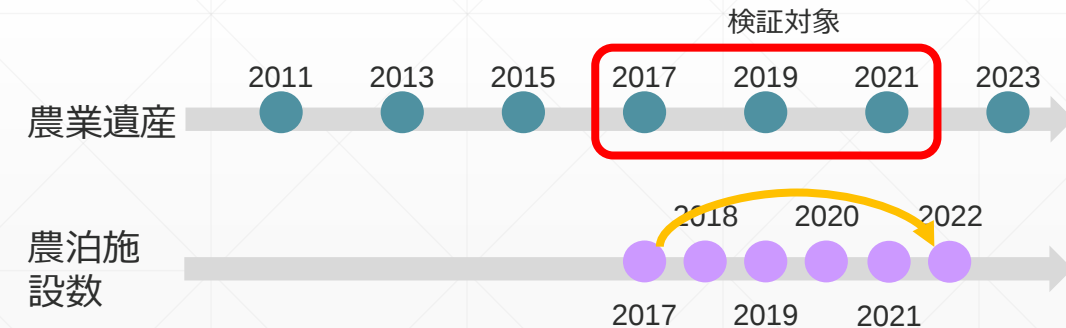


※認定地域の方が非認定地域より伸び率が高い場合：○、統計的に有意水準10%で伸び率が高い場合：◎

効果検証結果一覧 農泊施設数

期間	指標	認定年	効果※	伸び率		p値
				認定地域	非認定地域	
2017→2022	農泊施設数	2017年	◎	0.61	-0.73	0.09
		2019年	○	1.67	1.47	0.76
		2021年		-	-	-

2017、2019、2021年に認定された地域（市町村 N=30）について、農泊施設数の伸び率を非認定地域と比較したところ、2017年と2019年では認定地域の方が非認定地域より伸び率が高く、2017年に認定された地域ではその差が統計的に有意であった。



※認定地域の方が非認定地域より伸び率が高い場合：○、統計的に有意水準10%で伸び率が高い場合：◎

(5) 効果検証結果③

農業遺産（地域）の認知度・評価の変化

認定前後において、SNSにおける認定地域に関わるキーワードの投稿状況、共起する単語の変化を分析することで、認定による認知度・評価の変化を把握する。

効果検証③農業遺産（地域）の認知度・評価の変化

農業遺産の認定地域に係る認知度・評価の変化を確認するため、農業遺産に関するキーワードを選定し、SNSにおける投稿件数やその内容(話題)の変化、共起単語の変化等を分析した。

なお、分析対象のキーワードについては、政策部局である農村振興局側との協議の結果、「落ち葉堆肥」、「甲州AND（ぶどうOR果樹）」の2種類を選定した。

テキスト分析の方法

X(旧Twitter)に投稿された以下のデータを対象に、認定前後の期間での変化を比較した。

<対象データ>

(A)埼玉県武蔵野地域「大都市近郊に今も息づく武蔵野の落ち葉堆肥農法」に関するキーワード
「**落ち葉堆肥**」を含む投稿 件数：528件、期間：2015/1/2～2017/12/29

(B)山梨県峡東地域「峡東地域の扇状地に適応した果樹農業システム」に関するキーワード
「**甲州AND(ぶどうOR果樹)*¹**」を含む投稿 件数：7,997件、期間：2015/1/2～2017/12/31

<比較項目>

- ・投稿数(①全体、②「農業遺産」が「含まれる投稿数、③「農業遺産」及び「認定」が含まれる投稿数とRT*²)
- ・ワードクラウド*³
- ・頻出単語
- ・トピックモデル分析*⁴

※1：「甲州AND(ぶどうOR果樹)」とは、「甲州」+「ぶどう」又は「甲州」+「果樹」が含まれる投稿を指す。なお、「甲州AND(ぶどうOR果樹)」については、同じ内容の投稿が複数回なされていたため、重複する投稿は1投稿として分析を行った。

※2：RT(リツイート)とは、Xで他のユーザーの投稿を再投稿または再共有すること。

※3：テキストデータを視覚的にわかりやすく表現する方法。よく使われている単語ほど大きく表示され、テキストデータ内の重要なキーワードなどを把握することができる。

※4：文章のトピック(話題)を推察する手法。出現頻度が高い単語において、同じ意味を持つ単語をグルーピングしトピックモデルを作成した上で、各投稿をトピックモデル別に分類分けをすることができる。

投稿数に関する分析

「落ち葉堆肥」と「甲州 & (ぶどうor果樹)」について、①全投稿数、②「農業遺産」という単語が含まれる投稿数、③「農業遺産」及び「認定」が含まれる投稿の3つを調べた。特に③が全投稿数に占める割合は、「落ち葉堆肥」は25%程度、「甲州 & (ぶどうor果樹)」は1%未満となった。

続いて、「農業遺産」及び「認定」が含まれる投稿について、日ごとの投稿数及びRT数の推移を詳細に分析した（次ページ以降）。

キーワード	全投稿数	「農業遺産」が含まれる投稿			「農業遺産」及び「認定」が含まれる投稿		
		投稿数	全投稿に対する割合 (%)	ユニーク数※	投稿数	全投稿に対する割合 (%)	ユニーク数※
落ち葉堆肥	528	144	27.3	102	132	25.0	92
甲州 & (ぶどうor果樹)	7997	18	0.2	12	15	0.2	9

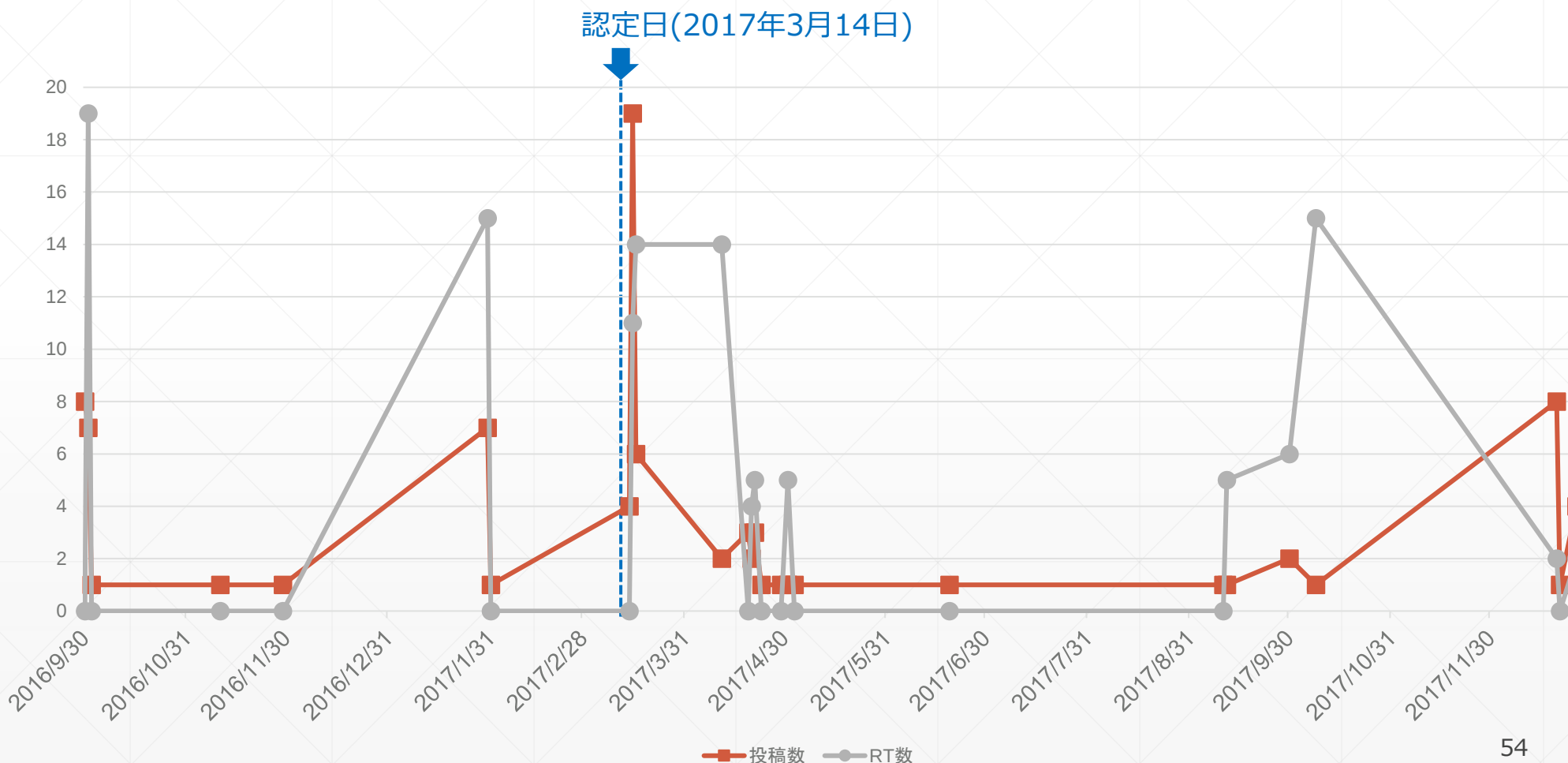
※ユニーク数とは、投稿数の中から重複する投稿を除いた数

↓
日ごとの投稿数及びRT数の
推移を詳細に分析

「農業遺産」及び「認定」が含まれる投稿の日別推移（落ち葉堆肥）

農業遺産認定月（2017年3月）に、投稿数は最も多くなっているものの、その前後でも一定の投稿数及びRT数が見受けられる。

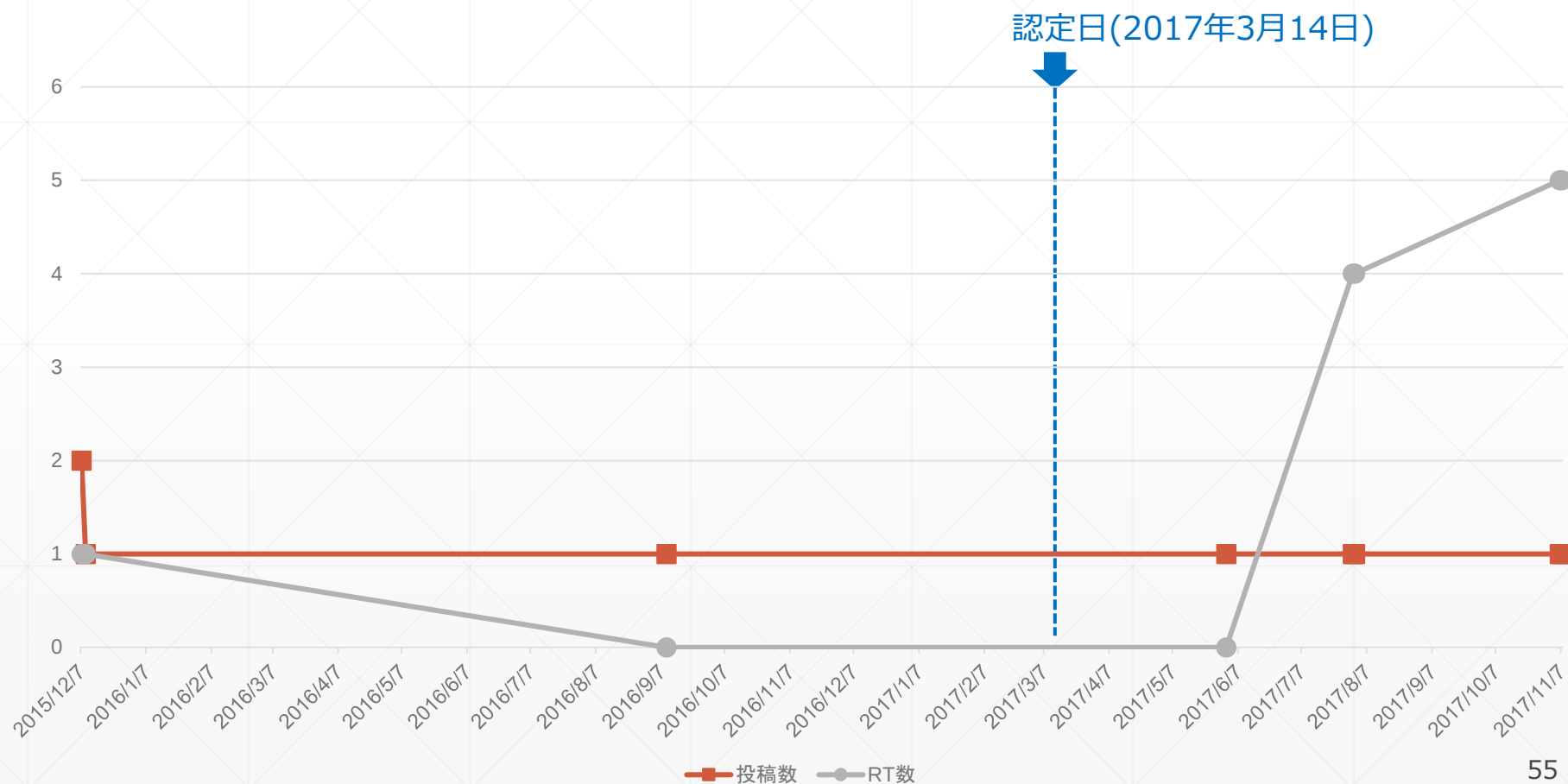
投稿日	投稿数	RT数
2016/9/30	8	0
2016/10/1	7	19
2016/10/2	1	0
2016/11/10	1	0
2016/11/29	1	0
2017/1/30	7	15
2017/1/31	1	0
2017/3/14	4	0
2017/3/15	19	11
2017/3/16	6	14
2017/4/11	2	14
2017/4/19	3	0
2017/4/20	2	4
2017/4/21	3	5
2017/4/23	1	0
2017/4/29	1	0
2017/5/1	1	5
2017/5/3	1	0
2017/6/19	1	0
2017/9/10	1	0
2017/9/11	1	5
2017/9/30	2	6
2017/10/8	1	15
2017/12/20	8	2
2017/12/21	1	0
2017/12/26	4	2
2017/12/27	2	2



「農業遺産」及び「認定」が含まれる投稿の日別推移（甲州&(ぶどうor果樹)）

そもそもの投稿数・RT数が少なく、認定月（2017年3月）においても、特段の投稿数増加は見られなかったが、若干RTが増えていた。

投稿日	投稿数	RT数
2015/12/7	2	1
2015/12/9	1	1
2016/9/9	1	0
2017/6/1	1	0
2017/7/31	1	4
2017/8/1	1	4
2017/11/6	1	5
2017/11/7	1	5



認定前後の投稿数、ワードクラウド、頻出単語の推移

続いて、各キーワードについて、以下のとおり認定前後の期間における投稿数、ワードクラウド及び頻出単語の推移について分析し、その変化を確認した。

A-1.「落ち葉堆肥」、「落ち葉堆肥」+(農業遺産、三芳、川越、所沢)の投稿数

A-2.「落ち葉堆肥」を含む投稿のワードクラウド

A-3.「落ち葉堆肥」を含む投稿の頻出単語

B-1.「甲州&(ぶどうor果樹)」、「甲州&(ぶどうor果樹)」+(農業遺産、山梨、笛吹、ぶどうの丘、大善寺)の投稿数

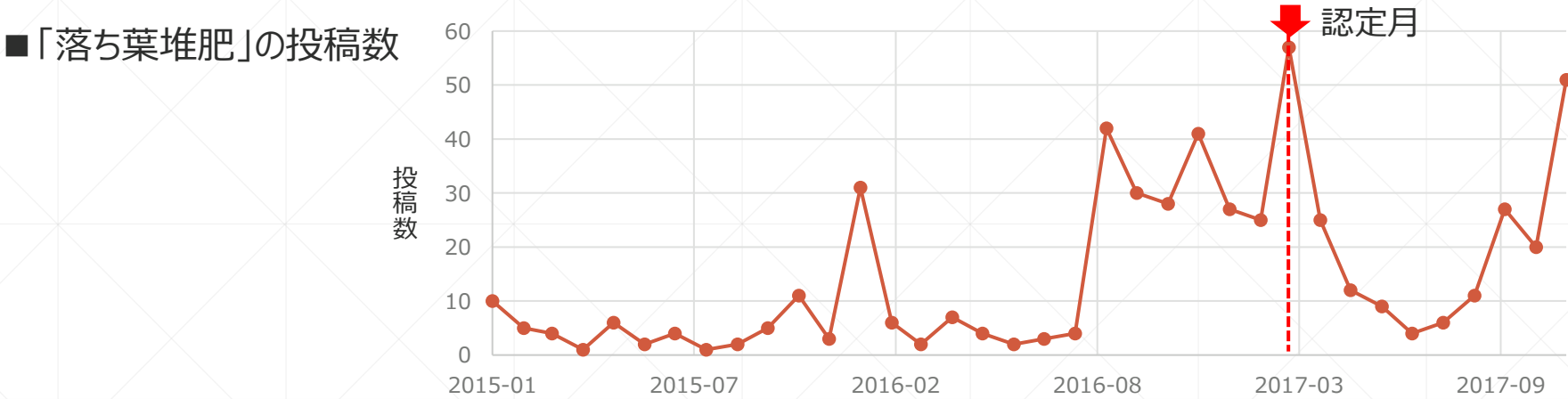
B-2.「甲州&(ぶどうor果樹)」を含む投稿のワードクラウド

B-3.「甲州&(ぶどうor果樹)」を含む投稿の頻出単語

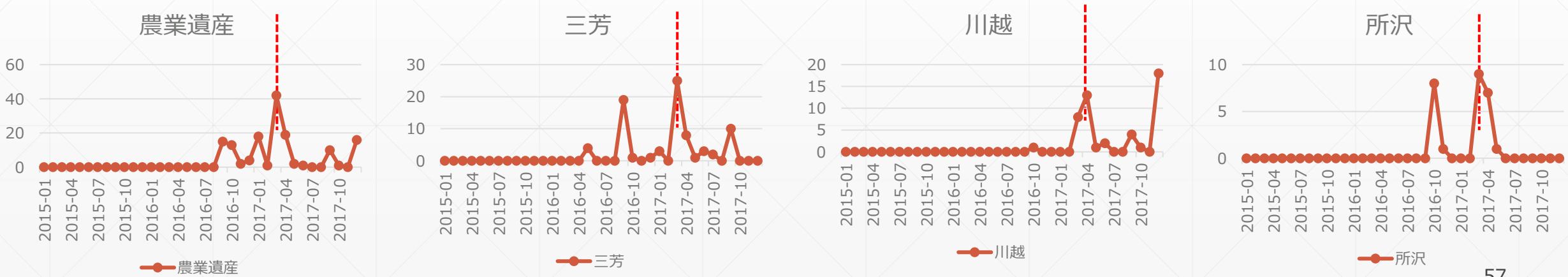
認定前後の投稿数、ワードクラウド、頻出単語の推移

A-1. 投稿数の推移(落ち葉堆肥)

「落ち葉堆肥」及び「落ち葉堆肥」+ 関連するキーワードの月別の投稿数の推移は下図のとおりであり、認定月前後で投稿数の増加が確認された。

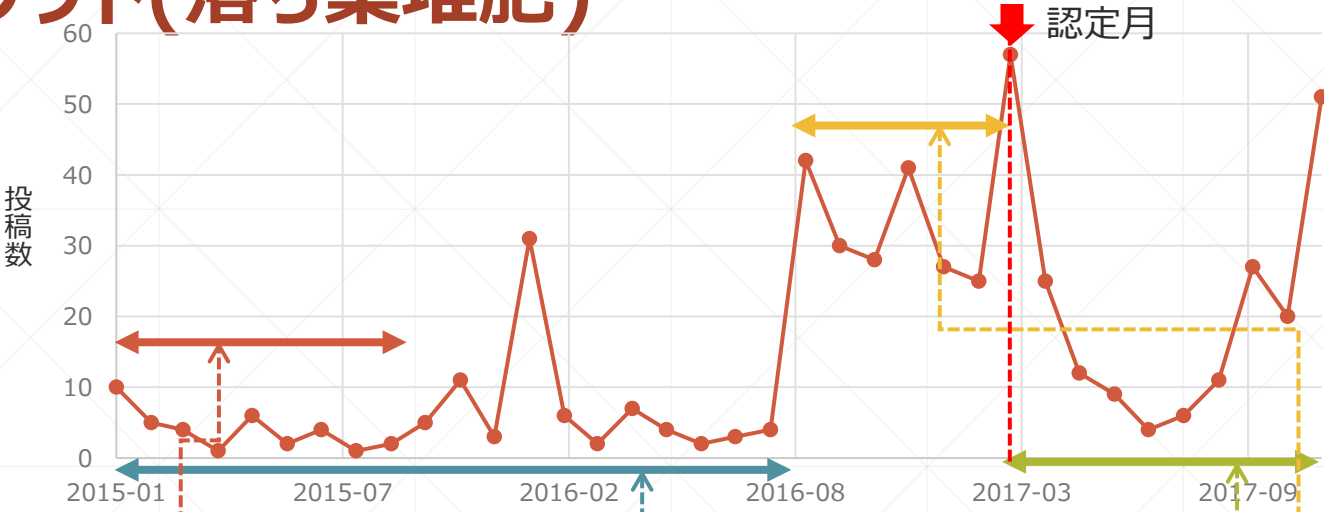


■「落ち葉堆肥」+ 各キーワードの投稿数



認定前後の投稿数、ワードクラウド、頻出単語の推移

A-2.ワードクラウド(落ち葉堆肥)



認定前①
2015年1月～10月



認定前③
2016年8月～2017年2月



認定前②
2015年1月～2016年7月



認定後
2017年3月～12月



認定前後の投稿数、ワードクラウド、頻出単語の推移

A-3.頻出単語(落ち葉堆肥)

- 認定前①の期間では「発酵」、「有機」、「自家製」、「温度」、「肥料」など有効な堆肥としての開発に関する投稿が多い。
- 認定前②の期間では「平地林を守り育てる「くず（落ち葉） 掃き」というイベントに関する投稿が特異点となっている。「放射性」など原発に関する投稿も出現している。
- 認定前③の期間では「農業遺産」というキーワードが出現し始め、「武蔵野」という地域の名称、「新聞」など報道関連の投稿が出現している。
- 認定後の期間では「武蔵野」、「三芳町」、「川越」、「志木市」、「新聞」など農業遺産として認定された事に関する投稿や「毎日(新聞)」「ニュース」等の報道関連の投稿が多い。

認定前① 2015年1月～10月

単語	件数
堆肥	48
落ち葉	47
使う	11
発酵	10
有機	8
自家製	7
温度	6
肥料	6
畑	5
土	5
日	5
堆肥化	5
市民	5
切り返す	4
米ぬか	4
野菜	4
原発	4
思い	4
行く	4
入れる	4

認定前② 2015年1月～2016年7月

単語	件数
落ち葉	149
堆肥	126
林	42
平地	26
参加	26
日	22
畑	21
米ぬか	20
収穫	18
支える	18
循環	17
型	17
土	15
農業	15
食べる	15
活用	14
一方	14
掃く	14
撒き	13
放射性	13

認定前③ 2016年8月～2017年2月

単語	件数
落ち葉	230
堆肥	206
農法	94
遺産	76
世界	70
農業	68
武蔵野	65
公園	60
店	56
畑	45
申請	43
使う	42
認定	41
作り	32
生産	32
東京	30
支援	30
づくり	30
新聞	29
協力	29

認定後 2017年3月～12月

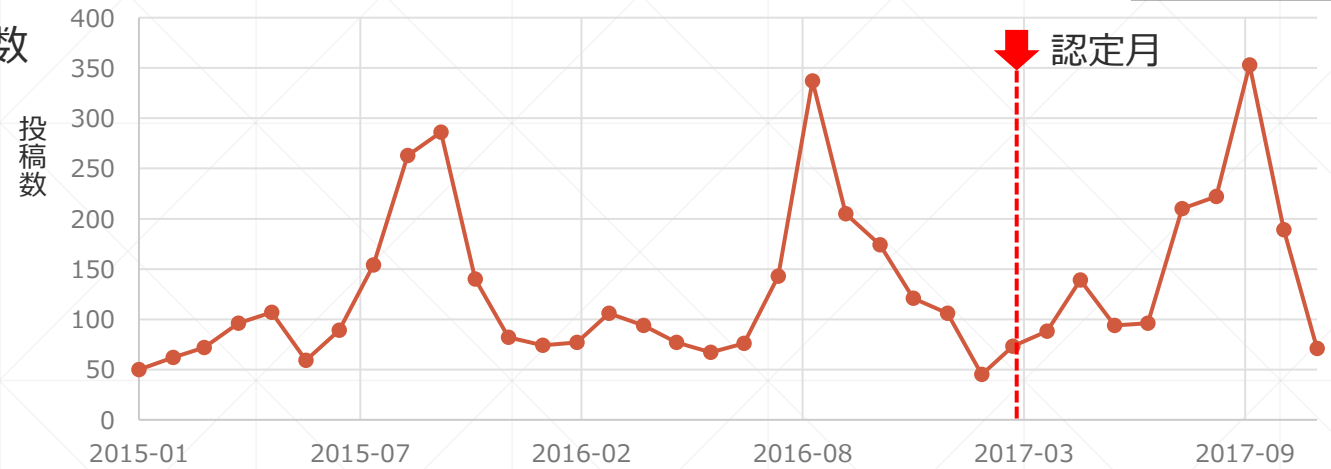
単語	件数
落ち葉	240
堆肥	240
農法	107
農業	106
武蔵野	102
日本	97
遺産	93
認定	89
埼玉	67
三芳町	58
世界	48
申請	42
新聞	40
川越	38
集める	29
毎日	28
日	27
認める	24
志木市	23
ニュース	22

認定前後の投稿数、ワードクラウド、頻出単語の推移

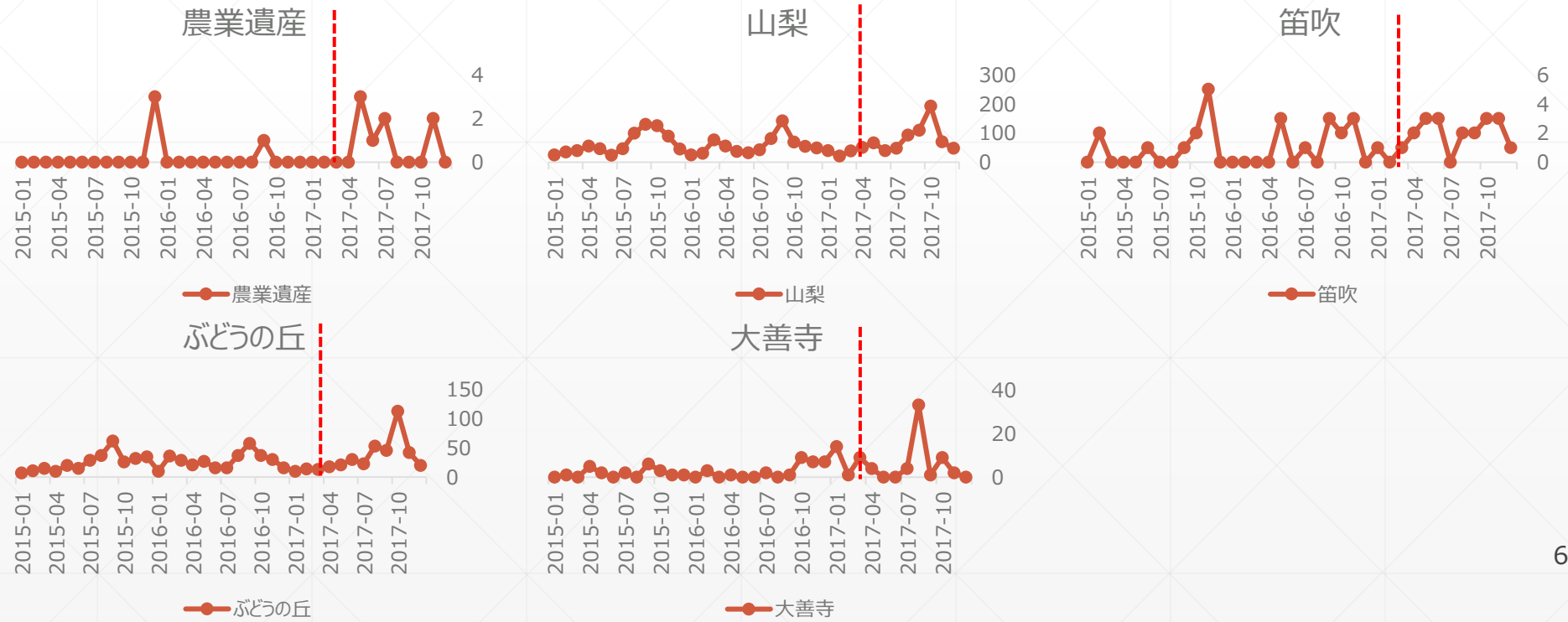
B-1. 投稿数の推移(甲州&(ぶどうOR果樹))

○「落ち葉堆肥」及び「落ち葉堆肥」+ 関連するキーワードの月別の投稿数の推移は下図のとおりで、認定月前後で投稿数の増加が確認された。

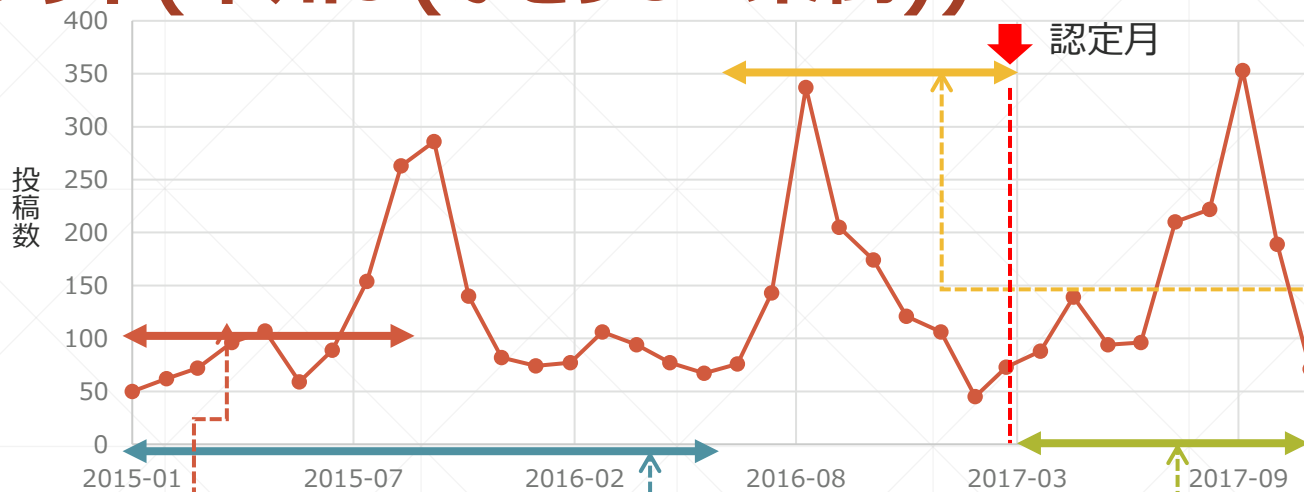
■「甲州&(ぶどうOR果樹)」の投稿数



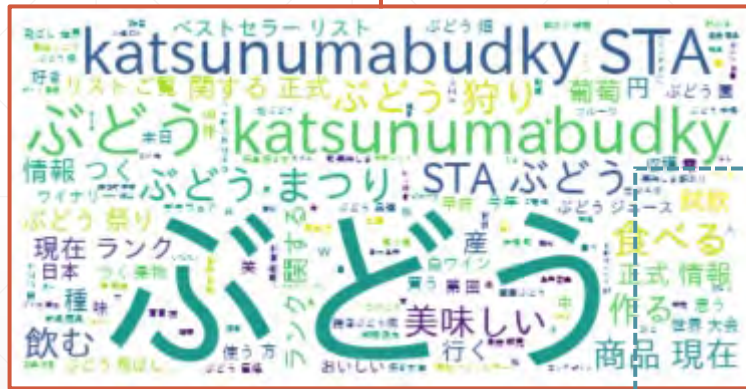
■「甲州&(ぶどうOR果樹)」
+ 各キーワードの投稿数



認定前後の投稿数、ワードクラウド、頻出単語の推移



認定前①
2015年1月～10月



認定前②
2015年1月～2016年6月



認定前③
2016年7月～2017年2月



認定後
2017年3月～12月



認定前後の投稿数、ワードクラウド、頻出単語の推移

B-3. 頻出単語(甲州&(ぶどうOR果樹))

- 認定前①②の期間では「STA」、
「katsunumabudky」
等の勝沼駅や「飲む」
「試飲」等の投稿が主流。認定前③の期間ではNHKの番組「ひるブラ」に関する投稿が多く、そこで取り上げられた「ぶどうまつり」に関連した単語が頻出している。
- また、「ぶどう寺(大善寺)」に関する投稿が出現し始める。
- 認定後の期間ではあ「コンサート」、「イベント」「まつり」に関する投稿が増え、認定地が単なるワインやぶどうの産地ではなく、娯楽の場としての認知度が上がった可能性が考えられる。

認定前① 2015年1月～10月	単語	件数
	katsunumabudky	177
	STA	177
	食べる	61
	果樹	61
	まつり	60
	情報	59
	狩り	58
	つく	53
	日本	52
	飲む	51
	ブドウ	51
	現在	50
	祭り	47
	試飲	46
	葡萄	45
	園	44
	美味しい	43
	商品	43
	限定	41
	ジュース	41
	作る	40
	ご	40
	関する	40
	甲府	39
	勝沼町	39
	畑	39
	種	39
	ワイナリー	39
	花	39
	ランク	39
	正式	39

認定前② 2015年1月～2016年6月	単語	件数
	STA	293
	katsunumabudky	292
	日本	113
	種	96
	ワイナリー	92
	まつり	91
	産	83
	狩り	82
	果樹	82
	飲む	76
	%	73
	ブドウ	72
	情報	70
	美味しい	68
	円	67
	食べる	66
	つく	66
	作る	64
	試飲	62
	勝沼町	61
	葡萄	61
	白ワイン	60
	現在	60
	園	59
	新酒	59
	畑	57
	ご	57
	醸造	57

認定前③ 2016年7月～2017年2月	単語	件数
	狩り	127
	まつり	105
	ミラー	98
	印伝	95
	産	93
	屋	87
	ぬま	84
	印	82
	傳	82
	寺	75
	無料	74
	行く	72
	食べる	67
	白	64
	開催	60
	年	60
	織	60
	日本	59
	本	58
	園	56
	地	53
	送料	53
	第	52
	試飲	49
	ブドウ	49
	コンパクト	49
	角	49
	ワイナリー	48
	美味しい	47
	NHK	46

認定後 2017年3月～12月	単語	件数
	コンサート	135
	まつり	134
	日本	116
	狩り	109
	イベント	103
	クラシック	102
	土	95
	食べる	89
	年	88
	本	86
	第	81
	品種	78
	寺	74
	ワイナリー	70
	畑	70
	ホール	69
	大善寺	69
	試飲	66
	葡萄	66
	回	66
	美味しい	65
	園	64
	できる	57
	ジュース	55
	楽しむ	55
	世界	54
	行く	52
	円	50
	桃	49

トピック分析

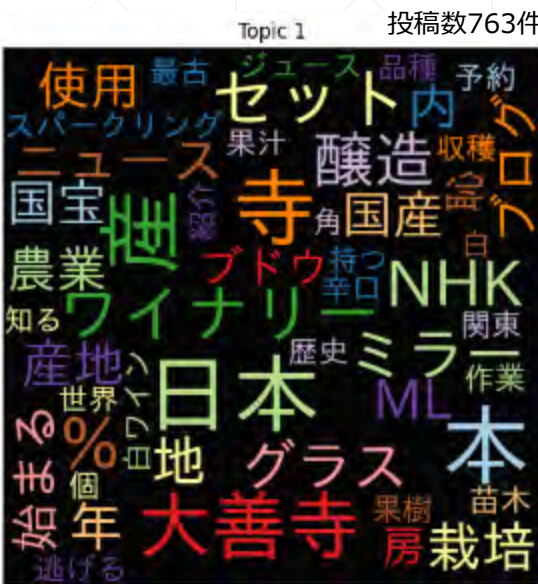
- 「甲州&(ぶどうOR果樹)」については、多様なトピック(話題)に関する投稿がなされており、全体でみると農業遺産認定に関する投稿の動向を把握することが難しいため、トピック分析（※）を実施した。
（※）トピック分析は、文章のトピック(話題)を推察する手法で、出現頻度が高い単語において、同じ意味を持つ単語をグルーピングしトピックモデルを作成した上で、各投稿をトピックモデル別に分類分けをすることができる。
- 本分析ではトピックモデルの数を 5 つとして投稿を分類分けし、各トピックに関して投稿数の推移および認定前後のワードクラウド、頻出単語の変化を確認した。

トピック分析結果①トピックモデル別のワードクラウドと頻出単語

各トピックモデルのワードクラウドと頻出単語(トップ10)



狩り
新酒
行く
園
まつり
ご
畑
収穫
飲む
来る



本
日本
産
寺
大善寺
%
セット
ワイナリー
NHK
醸造



コンサート
クラシック
土
イベント
ホール
STA
katsunumabudky
終演後
演奏
世界



まつり
第
開催
市
無料
州
回甲
勝沼ぶどう郷
甲府
回

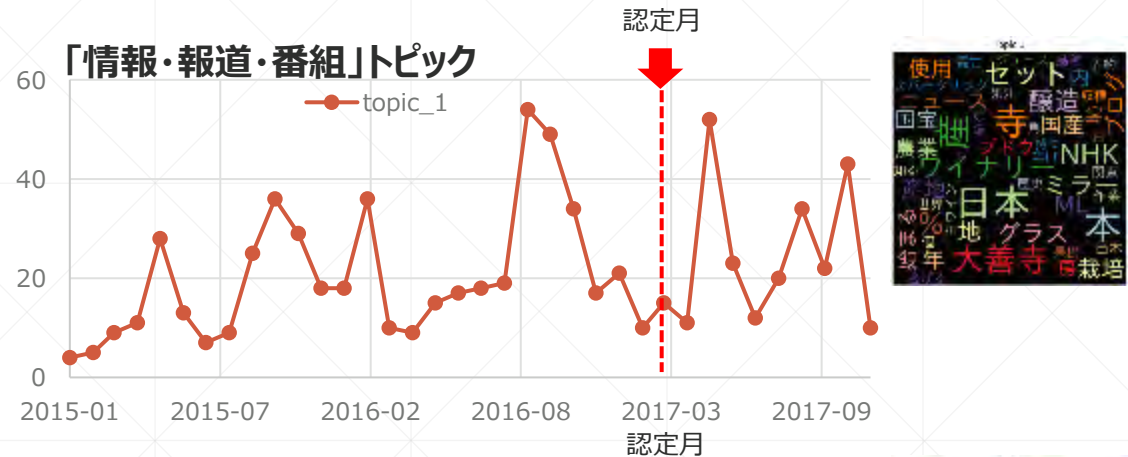


食べる
美味しい
種
葡萄
円
試飲
品種
ジュース
カーヴ
日本

- ✓ Topic0には「ぶどう狩り」や「来る」や「収穫」等の観光・旅行に関する投稿が多いため「観光・旅行」トピックとした。
- ✓ Topic1にはテレビ番組やニュース、報道、ブログ関係の投稿が多く、また「農業遺産」が含まれるため、「情報・報道・番組」トピックとした。
- ✓ Topic2には「勝沼ぶどう駅」や「勝沼ぶどうの丘イベントホール」に関する投稿が多いため「施設」トピックとした。
- ✓ Topic3には「勝沼ぶどう祭り」をはじめとしたお祭りやマラソン、イベントに関する投稿が多いため「イベント・お祭り」トピックとした。
- ✓ Topic4には甲州やぶどうに関する製品(ワイン、ジュース、お菓子、特産物等)に関する投稿が多いため「特産品」トピックとした。

トピック分析結果②各トピックモデル別の投稿数の推移

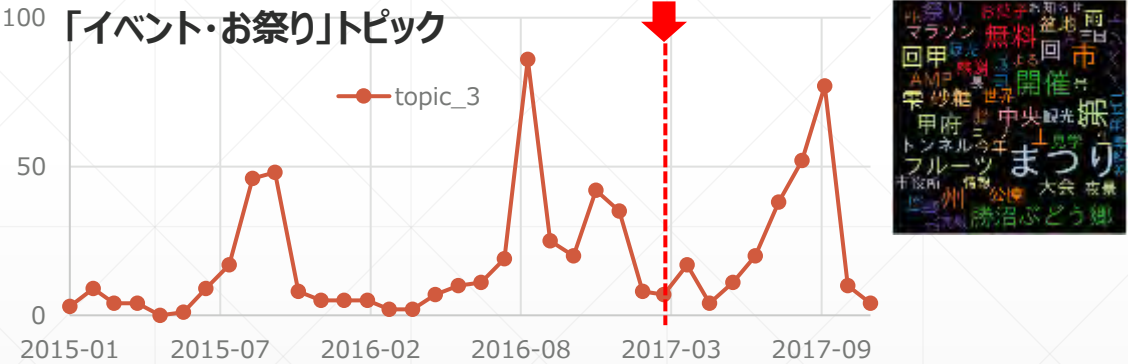
各トピックモデル別の投稿数



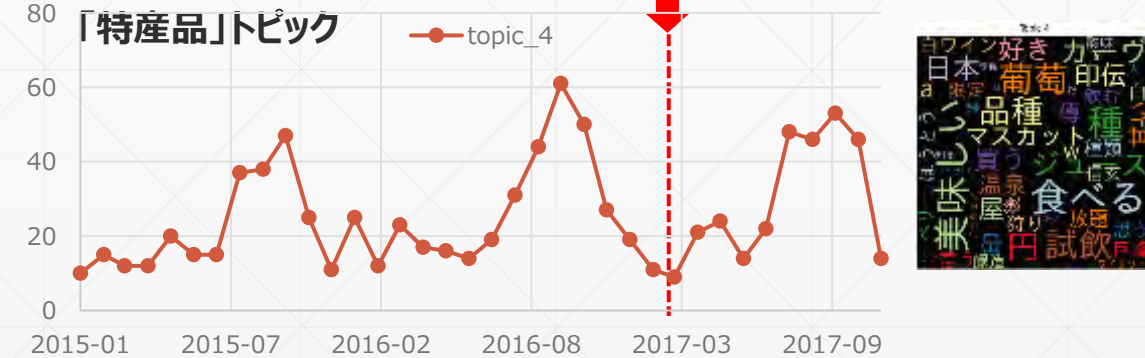
「施設」トピック



「イベント・お祭り」トピック



「特産品」トピック



- ✓ Topic0「**観光・旅行**」トピック：認定前は勝沼ぶどう祭りが開催される期間のみ投稿数が増えていたが、認定後はそれ以外の期間も一定数投稿がされている。
- ✓ Topic1「**情報・報道・番組**」トピック：テレビ番組等で取り上げられるタイミングで投稿が増えており、認定後はその頻度が上がっている。
- ✓ Topic2「**施設**」トピックは2017年11月のコンサート開催に関する投稿が多い。
- ✓ Topic3「**イベント・お祭り**」トピックは勝沼ぶどう祭り付近で投稿が増えるが、認定後はその期間が長くなっている。
- ✓ Topic4「**特産品**」トピックは認定前はぶどうの収穫時期に投稿数が増えていたが、認定後はその期間が長くなり投稿数も増えている傾向がある。

トピック分析結果② 認定前後のワードクラウドと頻出単語

認定前後のワードクラウドと頻出単語



認定前



認定後



- ✓ 認定後の方が「桃」「ワイナリー」等に関する投稿が増えており、「ぶどう」だけでなく「桃」の産地としての認知度が向上するとともに、「ワイナリー」を楽しめる観光地としての認知度が上がっていると考えられる。
- ✓ 認定後に、「畑」、「農家」に関する投稿が増え、観光地だけではなく農業や農家の取組への認知度が上がっており、農業遺産認定による効果もそれに一定程度寄与している可能性も考えられる。

認定前		認定後	
単語	件数	単語	件数
ぶどう	1181	ぶどう	674
狩り	118	狩り	56
まつり	77	まつり	45
行く	73	桃	35
新酒	73	園	33
園	70	年	31
棚	54	畑	28
ブドウ	49	良い	26
収穫	45	場所	26
飲む	43	行く	24
畑	39	本日	22
作る	38	来る	22
ちゃん	36	今年	21
君	36	ワイナリー	21
産	35	ご	20
年	35	明日	19
勝沼町	35	寺	19
NHK	31	予定	18
ご	31	前	18
できる	30	大善寺	18
味	29	皆	17
分	29	日本	17
ワイナリー	29	見る	17
桃	28	イベント	16
食べる	28	円	16
来る	27	中	15
祭り	26	農家	14
果樹	25	写真	14
葡萄酒	24	収穫	14
今年	24	試飲	14

トピック分析結果②認定前後のワードクラウドと頻出単語

認定前後のワーククラウドと頻出単語



認定前



認定後



- ✓ 認定後の方が「品質向上」、「優良」、「系統」、「苗木」等の単語が多く出現し、ぶどうの苗木や品種としての質の高さに関する投稿が増えている。
- ✓ 「NHK」「ニュース」等の単語、「遺産」という単語が出現し、農業遺産としての報道がなされ認知度が上がっていると考えられる。

認定前		認定後	
単語	件数	単語	件数
ぶどう	581	ぶどう	273
日本	80	本	59
産	80	日本	41
寺	71	品質向上	37
ワイナリー	56	優良	37
本	52	NHK	35
地	48	系統	32
%	48	苗木	31
ブドウ	45	ユーリ	26
使用	40	年	25
情報	39	%	22
苗	38	大善寺	20
年	37	寺	20
ブログ	37	ジュース	20
セット	36	セット	18
関東	35	農業	18
果樹	35	品種	17
商品	34	辛口	17
つく	34	グラス	17
産地	34	ニュース	16
更新	34	ワイナリー	15
白ワイン	34	味わい	15
醸造	33	葡萄	14
国宝	33	作る	14
ml	33	白ワイン	14
スパークリング	32	遺産	14
大善寺	32	個	14
苗木	32	果汁	14
無料	32	食べる	13
最古	32	on	13

トピック分析結果② 認定前後のワードクラウドと頻出単語

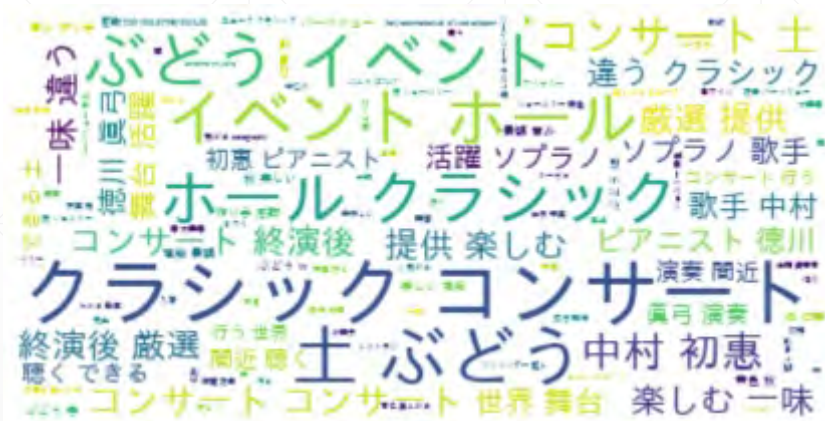
認定前後のワードクラウドと頻出単語



認定前



認定後



- ✓ 認定後の方が「コンサート」、「クラシック」、「イベント」、「ホール」等の2017年11月のコンサート開催に関する投稿が目立つが、農業遺産認定とは直接関係はない内容と考えられる。

認定前		認定後	
単語	件数	単語	件数
ぶどう	637	ぶどう	160
katsunumabu	273	コンサート	134
dky	273	クラシック	102
STA	273	土	76
w	30	イベント	68
美味しい	26	ホール	66
つく	22	終演後	42
商品	21	世界	39
狩り	21	楽しむ	36
情報	21	違う	34
日本	20	活躍	34
食べる	20	演奏	34
ご覧	20	中村	33
CM	20	初恵	33
ポット	20	厳選	33
現在	19	提供	33
ランク	19	一味	33
関する	19	ソプラノ	32
正式	19	歌手	32
ベストセラー	19	ピアニスト	32
リスト	19	徳川	32
飲む	17	真弓	32
ワイナリー	17	できる	31
ご	16	舞台	30
円	16	間近	30
寺	16	聴く	30
果物	16	行う	24
苗木	16	バーベキュー	16
桃	15	楽しめる	11
種	15	紅葉	11
品種	15		

トピック分析結果②認定前後のワードクラウドと頻出単語

認定前後のワードクラウドと頻出単語



認定後



- ✓ 認定後の方が「トンネル」、「勝沼ぶどう郷」等の単語が上位に出現し、「勝沼ぶどう郷」の認知度が上がっている。
- ✓ 「グランポレール」という日本ワインコンクールで受賞したワインの投稿や「マラソン」というぶどうマラソンの投稿が確認できるが、農業遺産認定とは直接関係はない内容と考えられる。

認定前		認定後	
単語	件数	単語	件数
ぶどう	495	ぶどう	268
まつり	93	第	64
第	65	まつり	64
開催	62	回	51
織	60	トンネル	36
回	54	勝沼ぶどう郷	28
無料	49	開催	25
ミラー	42	無料	24
大会	38	甲府	20
AMP	38	園	18
飛ばし	35	祭り	18
世界	35	盆地	17
長	34	新	16
PR	33	フルーツ	16
感謝	33	規制	16
雲	32	葡萄	15
土	31	年	14
加工	31	公園	14
お客様	31	狩り	14
特別価格	30	情報	14
送料	30	グランポレール	14
高級	30	ヌマ	13
傘	30	雨	13
ジャガード	30	今年	13
バラ	30	市役所	12
おしゃれ	30	マラソン	12
レディース	30	食べる	12
雨晴	30	方	12
兼用	30	牛奥	11
雨傘	30	日本	11

トピック分析結果② 認定前後のワードクラウドと頻出単語

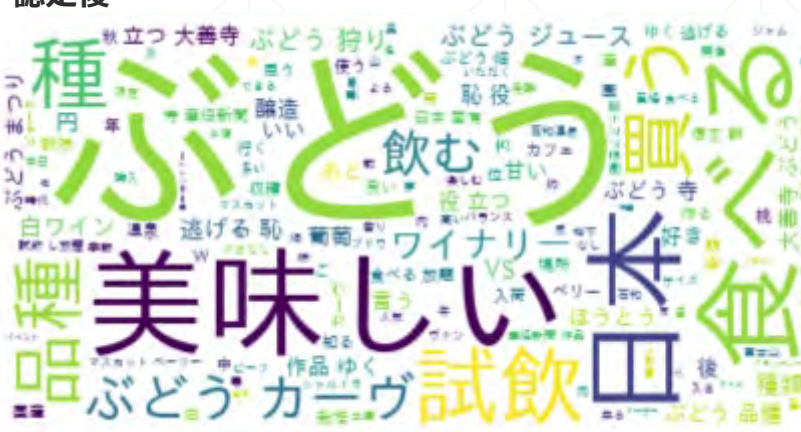
認定前後のワードクラウドと頻出単語



認定前



認定後



- ✓「美味しい」「品種」などの単語の出現数が増え、味や品質の高さについての評価が上がっていると考えられる。
- ✓「ワイナリー」「マスカット」「白ワイン」「巨峰」等の単語が上位にあがり、単なるぶどうだけでなく、ぶどうを素材とした多種・多品目が特産品として認知されたと考えられる。

認定前		認定後	
単語	件数	単語	件数
ぶどう	736	ぶどう	367
印伝	87	食べる	54
屋	78	日本	46
種	77	美味しい	40
印	73	品種	38
傳	72	試飲	33
美味しい	56	カーヴ	30
葡萄	56	狩り	26
食べる	54	種	25
試飲	46	a	25
円	45	ジュース	24
白	44	買う	22
ミラー	43	飲む	21
日本	42	円	21
品種	39	葡萄	21
限定	39	寺	20
飲む	39	ワイナリー	20
好き	38	マスカット	19
ジュース	37	逃げる	19
ケース	36	種類	18
a	34	白ワイン	18
産	34	恥	18
カーヴ	33	VS	18
ハード	32	巨峰	17
狩り	31	好き	16
甲斐	31	大善寺	16
マスカット	30	甘い	16
ワイナリー	30	畑	16
赤地	30	放題	16
人	29	年	15